もくじ

はじめに

本製品を安全に正しく使うために重要な事項が、同梱の冊子『安心してお使いいただくために』に記載されています。必ずお読みになり、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるようにお手元に大切に保管してください。本書は次の決まりに従って書かれています。

記号の意味

⚠ 警告	“取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（＊1）を負うことが想定されること”を示します。
⚠ 注意	“取扱いを誤った場合、使用者が傷害（＊2）を負うことが想定されるか、または物的損害（＊3）の発生が想定されること”を示します。
お願い	データの消失や、故障、性能低下を起こさないために守ってほしい内容、仕様や機能に関して知っておいてほしい内容を示します。
メモ	知っていると便利な内容を示します。
役立つ操作集	知っていると役に立つ操作を示します。
参照	このマニュアルや他のマニュアルへの参照先を示します。 このマニュアルへの参照の場合 …「　」 他のマニュアルへの参照の場合 …『　』 おたすけナビ、できるdynabookへの参照の場合 …《　》 おたすけナビには、さまざまな情報が記載されています。

＊1　重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
＊2　傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが・やけど・感電などをさします。
＊3　物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

用語について

本書では次のように定義します。

Windows XP ………………Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system 日本語版を示します。

おたすけナビ ………………パソコン上で見ることのできる、電子マニュアルを示します。デスクトップ上の［おたすけナビ］アイコンをダブルクリックして起動します。

ドライブ ……………………DVDスーパーマルチドライブを示します。

参照 ドライブについて『活用ガイド 1章 パソコンの基本操作を覚えよう』

TX/9シリーズ………………dynabook TX/9シリーズを示します。

AX/9シリーズ ……………dynabook AX/9シリーズを示します。

記載について

- 本書は次のモデルを対象としています。
  ・dynabook TX/9シリーズ
  ・dynabook AX/9シリーズ
  ・dynabook CX/9シリーズ
  ・dynabook CW/9シリーズ
- 記載内容には、一部のモデルにのみ該当する項目があります。その場合は、「用語について」のモデル分けに準じて、「＊＊＊＊モデルの場合」や「＊＊＊＊シリーズのみ」などのように注記します。
- アプリケーションについては、本製品にプレインストールまたは内蔵ハードディスクや同梱のCD／DVDからインストールしたバージョンを使用することを前提に説明しています。
- 本書に記載している画面やイラストは一部省略したり、実際の表示とは異なる場合があります。
- キーボード操作の説明は、キーボードの文字をすべて大文字で表記しています。ご購入のモデルによっては、キーボードの大文字と小文字の表記が異なる場合があります。
  またその際、カナ/かなキーは、カタカナ/ひらがなキーに該当します。

Trademarks

- Microsoft、Windows、Windows Media、Outlookは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- BeatJamは、株式会社ジャストシステムの登録商標です。
- BeatJam、おたすけナビは、株式会社ジャストシステムの著作物であり、BeatJam、おたすけナビにかかる著作権、その他の権利は株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。
- InterVideo、WinDVD、WinDVD CreatorはInterVideo,Inc.の登録商標または商標です。
- TruSurround XT、WOW HD、WOW XT、Circle Surround Xtract、SRSおよび、SRSと(●)® 記号は、SRS Labs, Inc.の商標です。
  TruSurround XT、WOW HD、WOW XT、Circle Surround Xtract、TruBass、SRS 3D、DefinitionおよびFOCUS技術は、SRS Labs, Inc.のライセンスに基づき製品化されています。
- おたすけナビは株式会社東芝の商標です。
- メモリースティックはソニー株式会社の商標です。
- i.LINKは商標です。
- xD-ピクチャーカード™は、富士写真フイルム株式会社の商標です。

取扱説明書に掲載の商品の名称は、それぞれ各社が商標および登録商標として使用している場合があります。

バックアップについて

ハードディスクや外部記憶メディアに保存しているデータは、万一故障が起きた場合や、変化／消失した場合に備えて、定期的にバックアップをとって保存してください。
ハードディスクや外部記憶メディアに保存した内容の損害については、当社は一切その責任を負いません。
バックアップについて、詳しくは『セットアップガイド 4章 大切なデータを失わないために』を参照してください。

著作権について

- 音楽、映像、コンピュータ・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作者および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをする場合には、著作権法を遵守のうえ、適切な使用を心がけてください。

リリース情報について

「リリース情報」には、本製品を使用するうえでの注意事項などが記述されています。必ずお読みください。次の操作を行うと表示されます。

① ［スタート］→［すべてのプログラム］→［はじめに］→［リリース情報］をクリックする

ワイド画面における画面の引き伸ばしについて

1. 本製品は、各種の画面モード切り換え機能を備えています。テレビ番組等ソフトの映像比率と異なるモードを選択されますと、オリジナルの映像とは見え方に差が出ます。この点にご注意の上、画面モードをお選びください。
2. 本製品を営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等において、画面モード切り換え機能等を利用して、画面の引き伸ばし等を行いますと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがありますので、ご注意願います。

お願い

- 本製品の内蔵ハードディスクにインストールされている、または同梱のCD／DVDからインストールしたシステム（OS）、アプリケーション以外をインストールした場合の動作保証はできません。
- 内蔵ハードディスクにインストールされている、または同梱のCD／DVDからインストールしたシステム（OS）、アプリケーションは、本製品でのみ利用できます。
- 購入時に定められた条件以外で、製品およびソフトウェアの複製もしくはコピーをすることは禁じられています。取り扱いには注意してください。
- 本書に記載している各お問い合わせ先は、2006年6月現在の情報です。各社の事情で受付時間などが変更になることがあります。

1 DVDの映画や映像を観る

用語について
本節では、「DVD」と記載している場合、特に書き分けのある場合を除き、「DVD-Video」を示します。

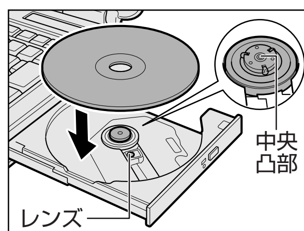
DVDの映画や映像を観るには、「InterVideo WinDVD（インタービデオ ウィンディーブイディー）」を使います。本製品では、DVD-Videoの再生ができます。

① DVDを観る

ここでは、「InterVideo WinDVD」でDVD-Videoの映像を観る方法を説明します。
「InterVideo WinDVD」を使う前に、「付録 1-1 Windows上でのDVD-Videoの再生にあたって」をよくお読みください。

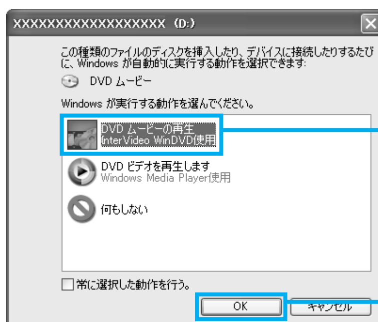
1 Windowsが起動している状態で、ドライブにDVDをセットする

購入したモデルによってイジェクトボタン、イジェクトホール、ディスクトレイLEDの位置は異なります。



2 起動するアプリケーションを選択する

「InterVideo WinDVD」が起動しなかった場合は、［スタート］→［すべてのプログラム］→［InterVideo WinDVD］→［InterVideo WinDVD］をクリックしてください。



再生するDVD-Videoによっては、表示が一部異なる場合があります。また、操作ボタンの一部は、機能対応している場合のみ表示できます。

3 「InterVideo WinDVD」が起動する

メインウィンドウ



メインウィンドウとWinDVDコントロールパネルが表示されるので、操作ボタンを使ってDVDの映像（DVD-Video）を観ましょう。

WinDVDコントロールパネル



操作ボタン

再生
ディスクの再生をスタートします。再生中は設定された間隔でオートリピートします。

コマ送り

一時停止

コマ戻し

停止

ボリューム
上にドラッグすると音量が上がります。下にドラッグすると音量が下がります。

ミュート
クリックすると消音になります。消音の状態でクリックすると、元の音量に戻ります。

ヘルプ
ヘルプを表示します。

最小化
画面を最小化します。

フルスクリーン
画面を最大化します。

カウンタ
再生中のDVDのチャプターや再生時間などを表示します。

前のチャプター

取り出し
ディスクが出てきます。

ディスクメニュー
メニューを表示します。

早戻し

早送り

次のチャプター

■WinDVDについて■

- 本製品で再生できるのは、DVD-Videoです。Video CDとは異なります。DVDが入っていたパッケージやDVDの盤面に「DVD-Video」と記載されていることを確認してください。



役立つ操作集

パソコンをDVDプレーヤ代わりに使う

パソコンの「InterVideo WinDVD」で再生している映像を、ご家庭のテレビまたは外部ディスプレイにも表示することができます。
パソコン本体にテレビまたは外部ディスプレイを接続し、映像を表示するための設定を行う必要があります。詳しくは、『活用ガイド 3章 周辺機器を使って機能を広げよう』を確認してください。



「InterVideo WinDVD」の問い合わせ先

東芝（東芝PCあんしんサポート）

全国共通電話番号　：0120-97-1048（通話料・電話サポート料無料）
技術相談窓口受付時間　：9:00～19:00（年中無休）

システムメンテナンスのため、サポートを休止させていただく場合があります。
海外からの電話、携帯電話、PHSまたは直収回線など回線契約によってはつながらない場合がございます。その場合はTel 043-298-8780（通話料お客様負担）にお問い合わせください。

2 映像を編集してDVDに残す

TX/9シリーズ、
AX/9シリーズのみ

映像を編集してDVDに残すには、Windows上で動作する「WinDVD（ウィンディーブイディー） Creator（クリエイター）」を使います。デジタルビデオカメラで撮影した映像をパソコンで編集し、DVDに残すことができます。
映像を編集する前に、「付録 1-2 「WinDVD Creator」の使用にあたって」をよくお読みください。

書き込み可能なメディア

プロジェクトモードとは
映像データを編集してからDVDに保存するモードです。映像を編集したい場合におすすめします。

ディスクマネージャとは
デジタルビデオカメラの映像をそのまま直接DVDに書き込むときに使用するモードです。編集しないでDVDに保存する場合におすすめします。

「WinDVD Creator」には、「プロジェクトモード」と「ディスクマネージャ」の2つのモードがあります。各モードで使用できるフォーマット（映像を書き込むときの記録形式）が異なります。

プロジェクトモード	DVD-Videoフォーマット
ディスクマネージャ	DVD-Videoフォーマット、-VRフォーマット、+VRフォーマット

モードとフォーマットによって、書き込みできるメディアの種類が異なります。

○：使用できる　×：使用できない

プロジェクトモード（DVD-Videoフォーマット）

CD-R	CD-RW	DVD-R	DVD-RW	DVD+R	DVD+RW	DVD-RAM
×	×	○*1	○	○*1	○	○*2

＊1　DVD+R DLおよびDVD-R DLに書き込んだ場合、書き込みを行ったパソコンにインストールされている「InterVideo WinDVD」でのみ再生可能となります。
＊2　DVD-Videoフォーマットで記録されたDVD-RAMは、本製品にインストールされている「InterVideo WinDVD」でのみ再生可能となります。

ディスクマネージャ（DVD-Videoフォーマット）

CD-R	CD-RW	DVD-R	DVD-RW	DVD+R	DVD+RW	DVD-RAM
×	×	×	○*1	×	×	×

＊1　再生するためには、ファイナライズを行ってください。ディスクマネージャで作成したメディアのみ追記、再編集が可能です。

ディスクマネージャ（-VRフォーマット）

CD-R	CD-RW	DVD-R	DVD-RW	DVD+R	DVD+RW	DVD-RAM
×	×	×	×	×	×	○

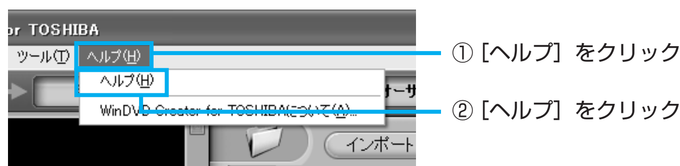
ディスクマネージャ（+VRフォーマット）

CD-R	CD-RW	DVD-R	DVD-RW	DVD+R	DVD+RW	DVD-RAM
×	×	×	×	×	○*1	×

＊1　ディスクマネージャで作成したメディアのみ追記、再編集が可能です

ヘルプの起動方法

「WinDVD Creator」についての詳細は、ヘルプを確認してください。起動方法は、次のとおりです。



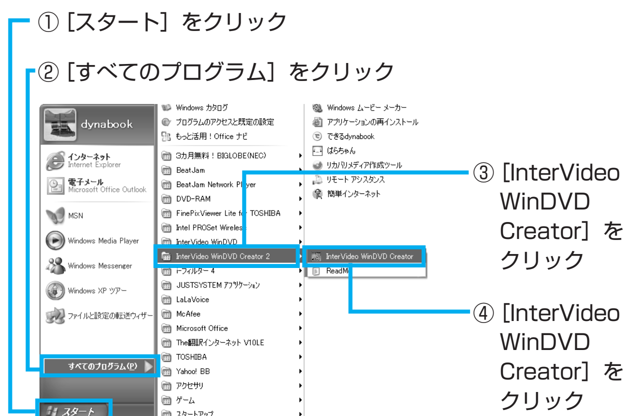
① 映像ファイルをDVDにする

ここでは、あらかじめファイルにしておいたビデオ映像などをDVDに書き込む方法を説明します。

1 DVDにする映像ファイル（ビデオ映像のファイルなど）を用意する

あらかじめ映像ファイルを用意しておきます。
デジタルビデオカメラで撮影した映像を編集したい場合は、「本節 ③ デジタルビデオカメラで撮影した映像をDVDにする」を参照してください。

2 起動する



3 [作成済みのビデオファイルをCD／DVDに作成] のボタンをクリックする



＊再生時間が24時間以上ある映像ファイルを取り込むことはできません。

4 使用するファイルを選択する



① ファイルの保存場所を指定

② ファイルを選択
複数選択したいときは、CTRL キーを押したまま、ファイルをクリックします。

③［開く］をクリック

5 映像ファイルが取り込まれる



映像ファイルが取り込まれ、編集画面が表示されました。
以降、取り込まれた映像のことを「クリップ」と呼びます。

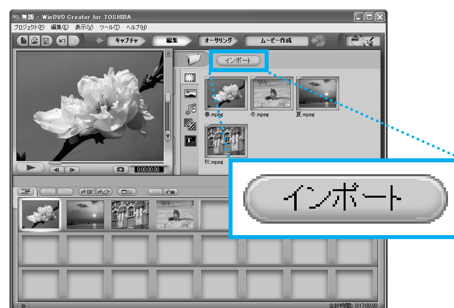


- ここでは「WinDVD Creator」で映像を取り込む方法を説明しています。同様の作業は、「Windows® Movie Maker 2（Windows ムービーメーカー）」でも実行できます。操作方法は「Windows ムービーメーカー」のヘルプをご覧ください。

役立つ操作集

編集中に映像ファイルを取り込む

映像ファイルの取り込みは、編集を行っている最中にも行えます。



① [インポート] をクリック



② ファイルの保存場所を指定



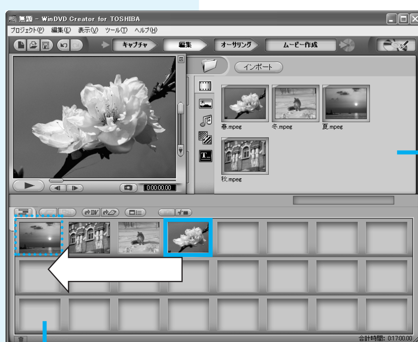
③ ファイルを選択
複数選択したいときは、CTRL キーを押したまま、ファイルをクリックします。

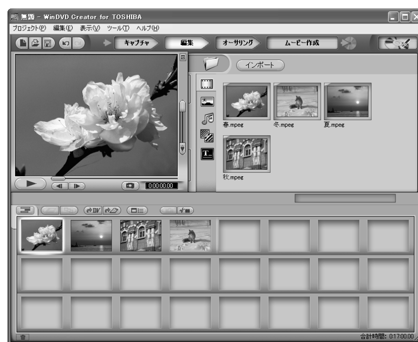
④ [開く] をクリック

次は、編集を行います。

6 クリップを並び替える

ストーリーボードに表示されたクリップをドラッグアンドドロップして、書き込みたい順番に並び替えます。





メディアライブラリー
取り込んだ映像を表示します。

ストーリーボード
ここに並べた順に、DVDに書き込まれます。

クリップが並び替えられました。



メモ

- 編集は、取り込んだ映像の録画時間より、時間がかかることがあります。

7 ［オーサリング］をクリックする

オーサリングを行います。
ここではDVDメニューを付けてみましょう。

オーサリングとは
DVDメニュー（タイトル画面）を作成する機能のことをいいます。

プレビュー画面
ここに表示されている画像がDVDメニューの画面になります。







オーサリングの画面に切り替わりました。
ここでは、あらかじめ用意されているDVDメニューを使います。



編集やDVDメニューを作る操作では、ここで説明している内容以外にも、次のような加工ができます。

- 編集の画面で、画像（静止画）や音楽の追加。また、タイトルやトランジションエフェクトをかけることも可能。
- オーサリングの画面で、DVDメニューの背景画像、文字入力やボタンの変更。

トランジションエフェクト
画像をモザイク状にしたり、少しずつ濃くなって消えるなどの、効果を追加する機能です。

これらについての詳細は、「WinDVD Creator」のヘルプを確認してください。

＊ハードディスクに書き出すこともできます。

8 ［オーサリングプレビュー］ボタンをクリックする

DVDメニューの動作を確認することができます。



9 プレビュー画面で動作を確認する

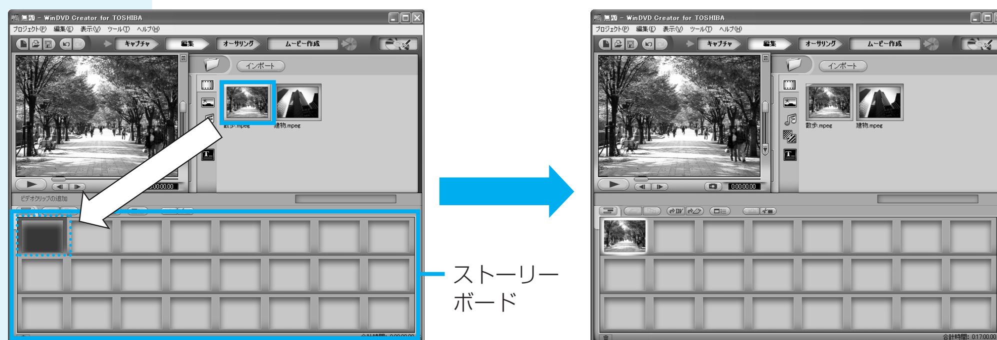


作ったDVDメニューを確認できる画面に切り替わりました。確認の操作は、画面右のリモコンを使います。この画面を閉じるときは、⏻ボタンをクリックしてください。

これで、切り出した映像を1つにまとめ、DVDメニューを作ることができました。
次はDVDに書き込みます。

■デジタルビデオカメラから映像を取り込んだ場合■

「本節 ③ デジタルビデオカメラで撮影した映像をDVDにする」で、デジタルビデオカメラから直接映像を取り込んだ場合は、クリップがストーリーボードに表示されていません。メディアライブラリーに表示されているクリップを、ストーリーボードにドラッグアンドドロップしてください。

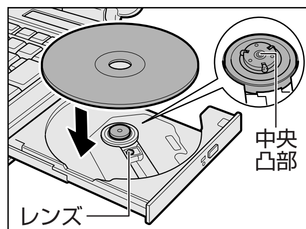


クリップをストーリーボードにドラッグアンドドロップすると、クリップがストーリーボードに並べられます。必要なクリップを順次ストーリーボードにドラッグアンドドロップしてください。

10 ドライブにDVDをセットする

ここでは、DVDディスクに直接書き込む方法を説明します。ハードディスクに書き出す場合は、手順10の作業を行う必要はありません。

DVDまたはハードディスクに書き出す前に、「付録 1-3 DVDへの書き込み／ハードディスクへの書き出しについて」をよくお読みください。



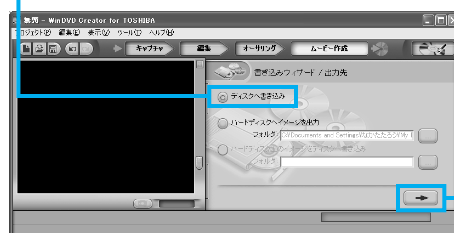
11 ［ムービー作成］をクリックする



12 出力先を設定する

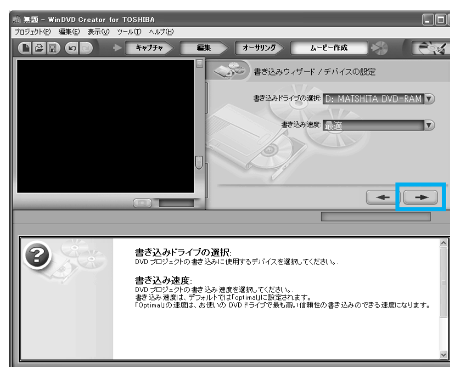
①［ディスクへ書き込み］をチェックする

② をクリック



ハードディスクに書き出す場合は、［ハードディスクへイメージを出力］をチェックし、［フォルダ］欄で書き出す場所を指定してください。

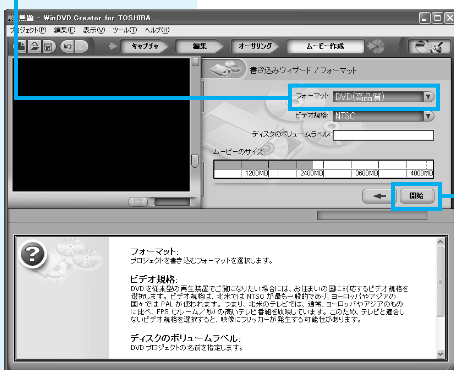
13 をクリックする



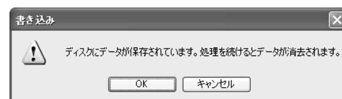
14 フォーマット（画質）を選択し、［開始］ボタンをクリックする

① フォーマットを選択
［DVD（高品質）］または［DVD（標準）］を選択してください。

② ［開始］をクリック



すでにデータが書き込まれているDVD-RAM、DVD-RW、DVD+RWをドライブにセットした場合は、次のようなメッセージが表示されます。

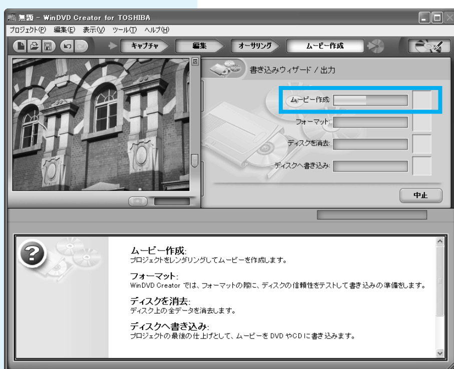


データを削除して、DVDに書き込んでもよい場合は、［OK］ボタンをクリックしてください。

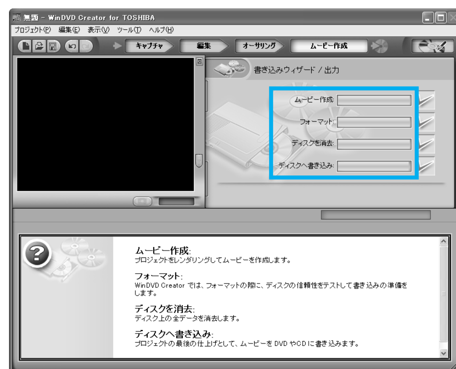
＊ メーターはあくまで目安です。メーターを超えていない場合でも、DVDの容量を超えて「オーサリングエラー」が表示されることがあります。

［ムービーのサイズ］のメーターがDVDの容量を超えている場合は、「本節 ② テレビ番組を2つに分けて別々のDVDにする」を参考にして、映像ファイルを2枚のDVDにするか、いらない部分を削除してください。

15 映像の書き込みが始まる

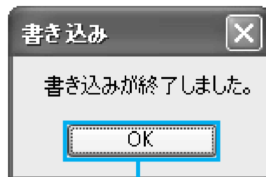






＊ 映像の書き込みには、時間がかかる場合があります。

書き込みが終了すると、次の画面が表示され、自動的にディスクトレイが開きます。



① ［OK］をクリックする

2 映像を編集してDVDに残す

② 映像ファイルを2つに分けて別々のDVDにする

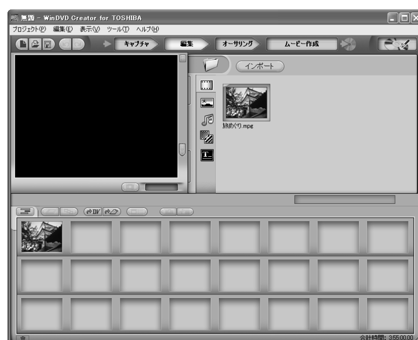
＊ DVD1枚とは4.7GB1層のDVDメディアを指しています。DVD-RAMで両面あるメディアの場合は、片面ずつ映像を書き込むことができます。

＊ 4.7GBのDVDメディアに書き込める映像データは4.0GB（DVD+R DLメディア（8.5GB）の場合、7.0GB）です。

「プロファイル」の初期設定で録画した映像ファイルはDVD1枚あたり、［DVD HQ］で1時間弱、［DVD SP］で2時間弱、収録できます。長い時間録画した映像ファイルがDVDの容量を超えていると、1枚のDVDに収まりません。2枚のDVDに収まるように映像ファイルを切り分けます。
ここでは4時間の映像ファイルを半分に分け、2枚のDVDにする操作を説明します。

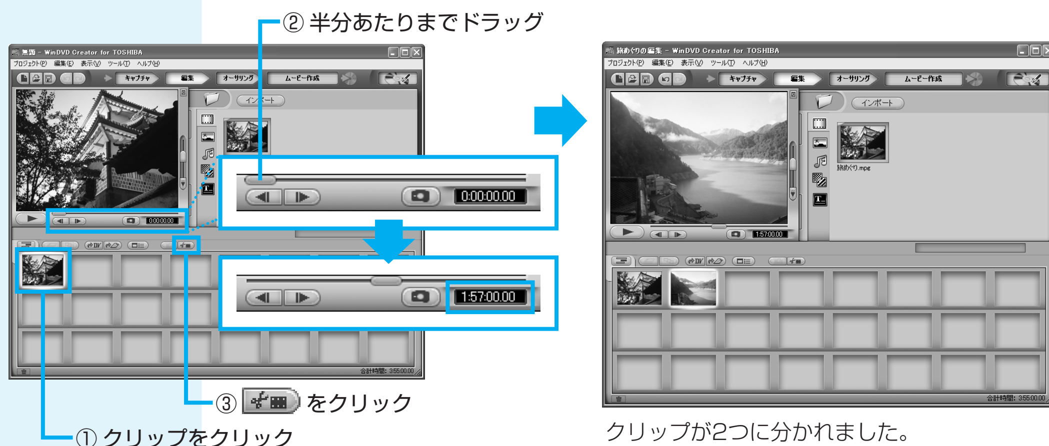
1 ビデオファイル（ビデオ映像のファイルなど）を取り込む

「本節 ① 映像ファイルをDVDにする」の手順1〜4と同じ操作です。



映像ファイルが取り込まれました。

2 半分の長さ（約2時間弱）でビデオファイルを分ける



クリップが2つに分かれました。

役立つ操作集

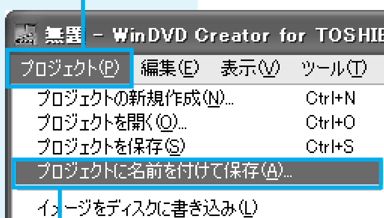
ストーリーボード上のクリップをダブルクリックすると、クリップの時間を調整するトリミングメニュー画面が表示されます。

トリミングメニュー



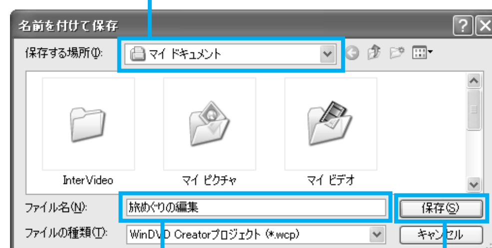
3 ファイルに保存する

① [プロジェクト] をクリック



② [プロジェクトに名前を付けて保存] をクリック

③ 保存場所を指定



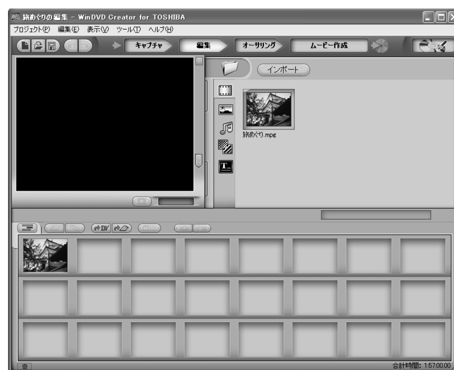
④ ファイル名を入力

⑤ [保存] をクリック

4 後半（2つ目）のクリップをクリックし、DEL キーを押す



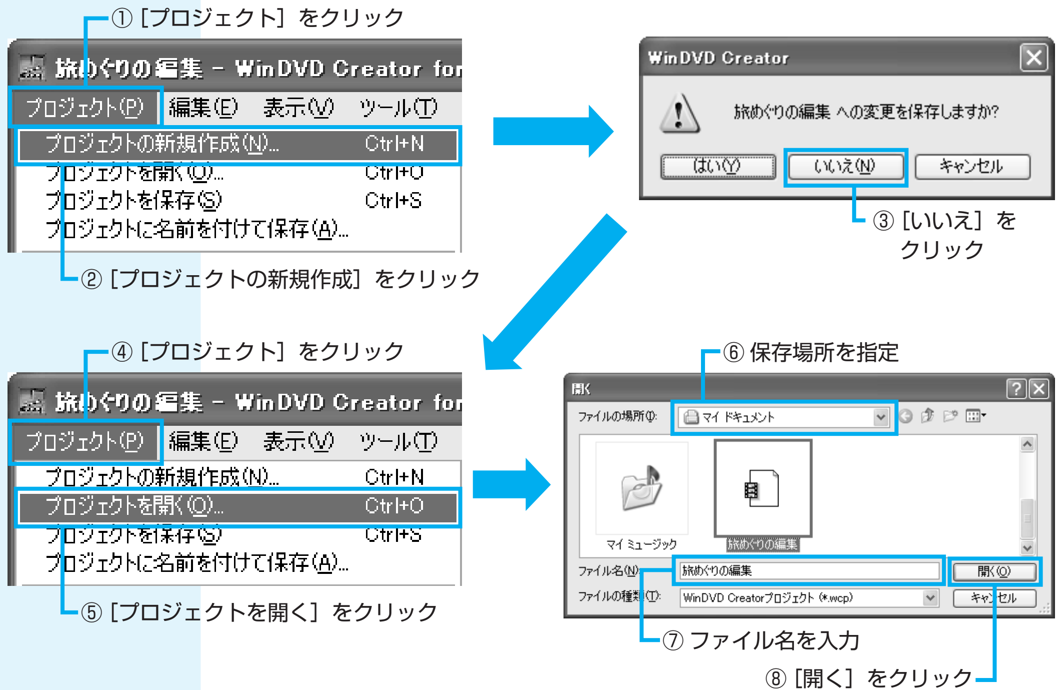




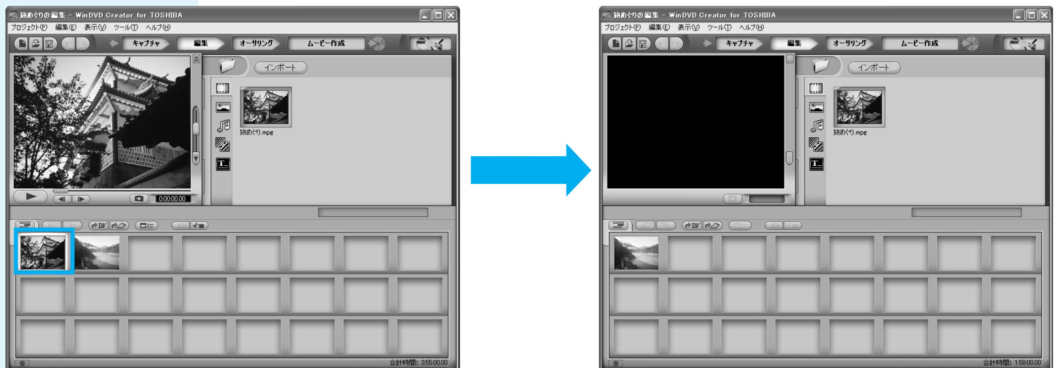
クリップの前半部分が残ります。これをDVD（1枚目）にします。「本節 ① 映像ファイルをDVDにする」手順7〜手順15と同じ操作です。

映像ファイルの後半部分をDVDにします。

5 手順3で保存したファイルを開く



6 前半（1つ目）のクリップをクリックし、DEL キーを押す



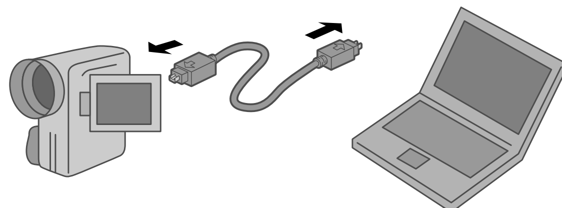
クリップの後半部分が残ります。これをDVD（2枚目）にします。「本節 ① 映像ファイルをDVDにする」手順7～手順15と同じ操作です。

③ デジタルビデオカメラで撮影した映像をDVDにする

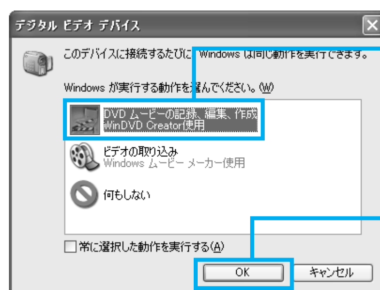
ここでは、デジタルビデオカメラで撮影した映像をパソコンに取り込んで、DVDにする方法を説明します。

1 デジタルビデオカメラをパソコンに接続し、電源を入れる

参照 デジタルビデオカメラの接続と電源の入れかた『デジタルビデオカメラに付属の説明書』



2 やりたいことを指定する

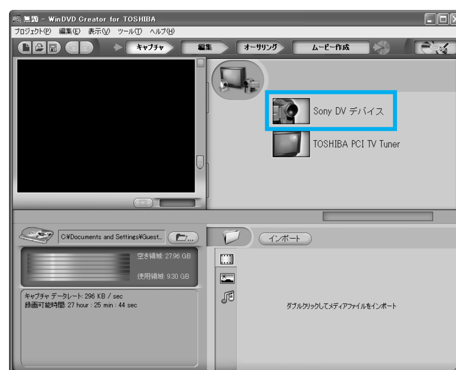


① [DVDムービーの記録、編集、作成 WinDVD Creator使用］をクリック

② [OK］をクリック

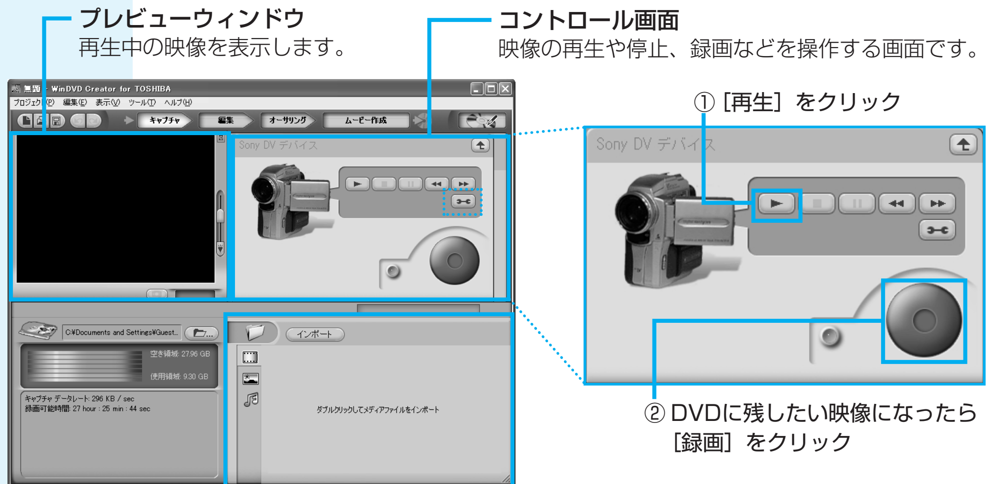
3 ビデオカメラをクリックする

（インポート）をクリックすると、あらかじめパソコンに保存されている映像ファイルを取り込むことができます。詳細は、「本節 ① 映像ファイルをDVDにする」手順5内の「役立つ操作集」を確認してください。



4 編集したい部分を切り出して取り込む

「WinDVD Creator」が起動します。



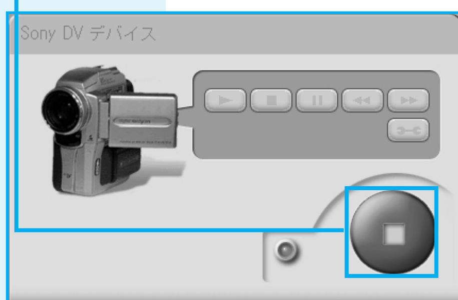
メディアライブラリー
編集に使うファイルを管理します。取り込んだ映像は、ここに表示されます。

[アイコン] をクリックすると映像ファイルの録画品質を設定する画面が表示されます。
フォーマットとプロファイルで選択してください。

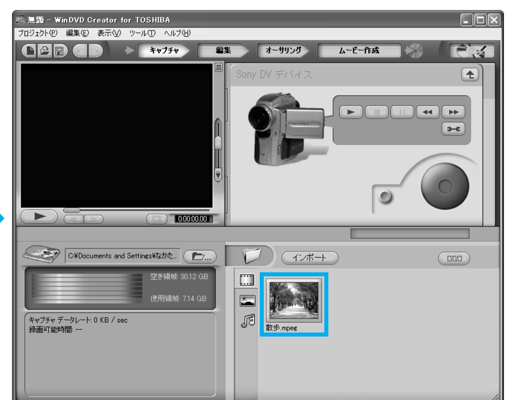
フォーマット	プロファイル	ムービー作成*
MPEG	DVD HQ（品質高）	[DVD（高品質)]
	DVD GQ（品質良）	
	DVD SP（標準再生）	[DVD（標準)]
	DVD LP（長時間再生）	
	DVD EP（拡張再生）	
DV-AVI	DV-AVI	－

＊「本節 ① 録画したテレビ番組や映像ファイルをDVDにする」手順13で、[ムービー作成] のフォーマットを表のとおりに選択すると、DVDを書き込む時間が短くなります。

③ 取り込みが終わりまできたら、[停止] をクリック







ビデオライブラリーに映像ファイルが表示され、映像が取り込まれました。

5 別のカット（映像）を切り出したい場合は、手順4をくり返す

ここでは、全部で2つのカットを取り込みます。

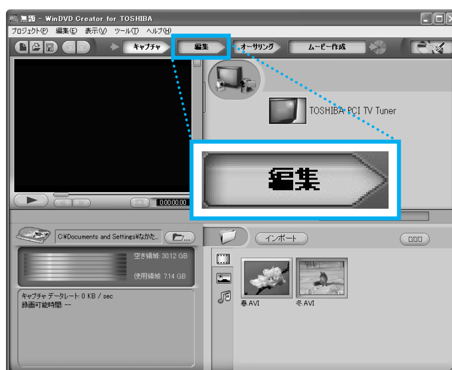


複数のテープから映像を取り込みたい場合は、テープを入れ替えて手順3をくり返してください。

6 デジタルビデオカメラの電源を切り、パソコンと接続しているケーブルを取りはずす

参照 デジタルビデオカメラの電源の切りかたと接続ケーブルの取りはずしかた『デジタルビデオカメラに付属の説明書』

7 ［編集］をクリックする



編集の画面に切り替わります。
以降の操作は、「本節 ① 映像ファイルをDVDにする」の手順7に進んでください。



メモ

- 「Windows ムービーメーカー」を使って、映像を取り込み編集することもできます。「Windows ムービーメーカー」の詳しい操作方法についてはヘルプを確認してください。「Windows ムービーメーカー」のお問い合わせは、東芝PC あんしんサポート（巻末参照）になります。



「WinDVD Creator」の問い合わせ先

インタービデオジャパン　ユーザーサポート

お問い合わせの前にホームページ（http://www.intervideo.co.jp/）のサポートページをご確認ください。
当製品の無償サポート期間は、ご購入後1年間となります。

受付時間　：月～金　9:30～17:00
（12:00～13:30および土、日、祝祭日、特定休業日は休み）
TEL　：045-226-3899
FAX　：045-226-3895
E-mail　：techsupp@intervideo.co.jp
ホームページ　：http://www.intervideo.co.jp/

3 音楽を聴く

本製品で音楽CDを聴くためには、「BeatJam（ビートジャム）」または「Windows（ウィンドウズ） Media（メディア） Player（プレーヤ）」を使います。

① BeatJamを使う

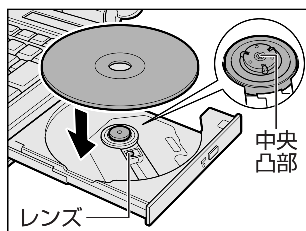
TX/9シリーズ、AX/9シリーズのみ

ここでは、「BeatJam」の基本的な使いかたを説明します。
音楽CDを聴いたり、音楽ファイルを作ったり、好きな音楽ファイルをまとめて1つのリストを作ることもできます。

1 音楽CDを聴く

ここでは、音楽CDを聴く方法を説明します。ドライブに音楽CDをセットするだけで、「BeatJam」を起動することができます。

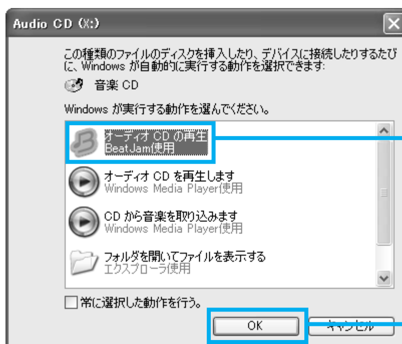
1 ドライブに音楽CDをセットする



2 操作の目的を選択する

［オーディオCDの再生 BeatJam使用］が表示されていない場合は、をクリックして表示してください。

「BeatJam」が起動しなかったときは、［スタート］→［すべてのプログラム］→［BeatJam］→［BeatJam］をクリックしてください。

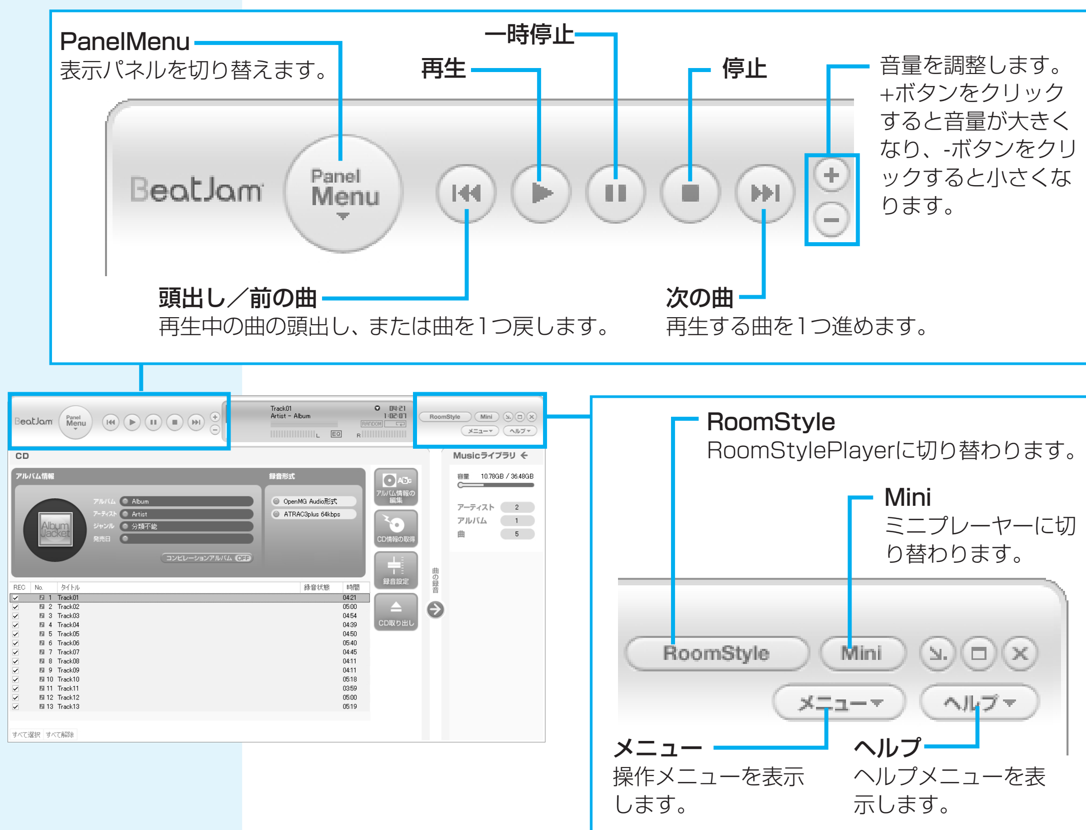


初めて起動したときは、［使用許諾契約の確認］画面が表示されます。使用許諾契約に同意のうえ、［同意する］ボタンをクリックしてください。次に「バックアップツール」についての画面が表示されます。内容を確認後、［OK］ボタンをクリックしてください。続けて、ユーザ登録をおすすめする画面が表示されます。この方法でユーザ登録を行うには、インターネットに接続できる環境とメールが受信できる環境が必要です。ユーザ登録を行う場合は、［今すぐ登録］ボタンをクリックし、画面の指示に従ってユーザ登録を行ってください。後でユーザ登録を行う場合は、［閉じる］ボタンをクリックしてください。

3 **音楽を聴く**

自動的にCDの1曲目から再生されます。
画面に用意されている各ボタンで操作してください。

CDパネルの操作画面



それぞれの詳細は、［ヘルプ］ボタンをクリックして、「BeatJam」のヘルプをご覧ください。

役立つ操作集

ミニプレーヤー

［Mini］ボタン（ Mini ）をクリックすると、ミニプレーヤーに切り替わります。
操作ボタンや音量調節など、音楽を聴くための機能を集約した画面です。

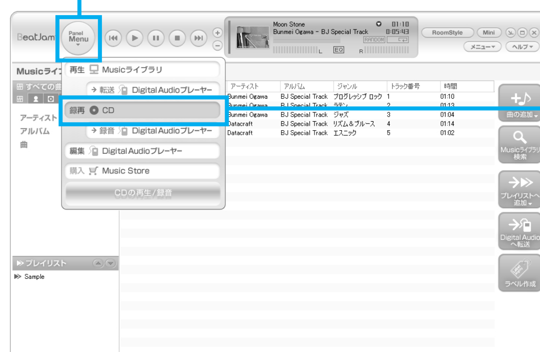


2 音楽ファイルを作る／聴く

ここでは、「BeatJam」で音楽CDの曲をパソコンに録音して、音楽ファイルを作る方法を説明します。音楽ファイルを作ったら、そのファイルを再生してみましょう。あらかじめ、ドライブに音楽CDをセットしておいてください。

1 CDパネルを表示する

① [Panel Menu] をクリック



② [CD] をクリック

CDパネルが表示されます。

2 音楽CDから録音する曲と、録音形式を選択する

次の録音形式が選択できます。

OpenMG Audio形式
著作権保護機能に対応する形式のこと。OpenMG Audio形式で録音した音楽ファイルは、再生できる機器などが限られる。

WindowsMedia形式
「Windows Media Player」標準のデータ形式のこと。

WAVE形式
MIDIやサウンドカード、電子楽器に対応する、Windowsで一般的に使われている形式のこと。

① 録音する曲をチェックする
録音しない曲はチェックをはずしてください。



② 録音形式をクリック
[録音形式の選択] 画面が表示されます。



③ 録音形式を選択
[OpenMG Audio形式] [WMA形式]、[WAVE形式] から選択できます。デジタルオーディオプレーヤで音楽ファイルを再生する場合には、プレーヤで再生できるファイル形式を確認し、選択してください。

④ [OK] をクリック



- 「BeatJam」では、MP3ファイルの再生は可能ですが、MP3形式のデータを作成することができません。

音楽CDの曲情報をGracenote CDDB® から取り込むことができます。Gracenote CDDB® については、「BeatJam」のヘルプを確認してください。音楽認識技術及び関連情報はGracenote® 社によって提供されています。

3 ［録音の開始］ボタンをクリックする

音楽CDの曲がパソコンに録音され、音楽ファイルの作成が始まります。



① ［録音の開始］をクリック



音楽ファイルの作成が完了したら、「処理が完了しました」と表示されます。

4 録音する画面を閉じる

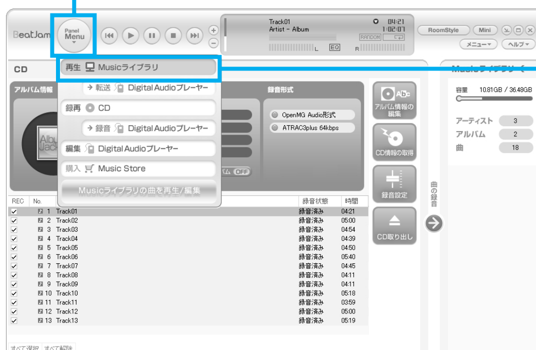


① ［閉じる］をクリック

作成した音楽ファイルは、ライブラリパネルで再生できます。
次の手順で、作成した音楽ファイルを再生してみましょう。

5 Musicライブラリパネルを表示する

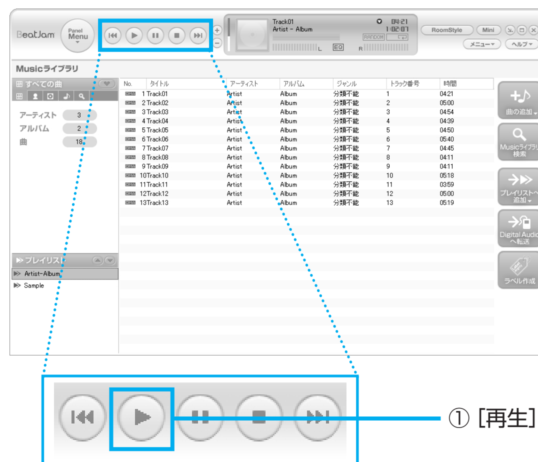
① ［Panel Menu］をクリック



② ［Musicライブラリ］をクリック

Musicライブラリパネルが表示されます。

6 音楽ファイルを再生する



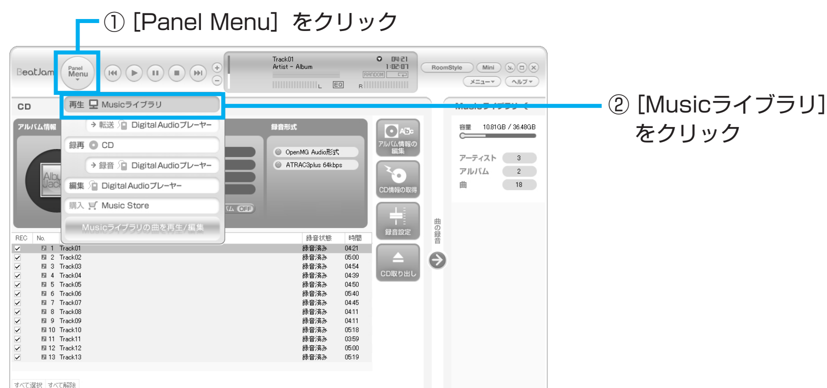
① [再生] をクリック

音楽ファイルの再生が始まります。

3 自分だけの演奏リスト（プレイリスト）を作る

ここでは、プレイリストを作る方法を説明します。音楽ファイルを好きな順番に並べて1つにまとめたものを「プレイリスト」といい、自分だけの演奏リストを作ることができます。

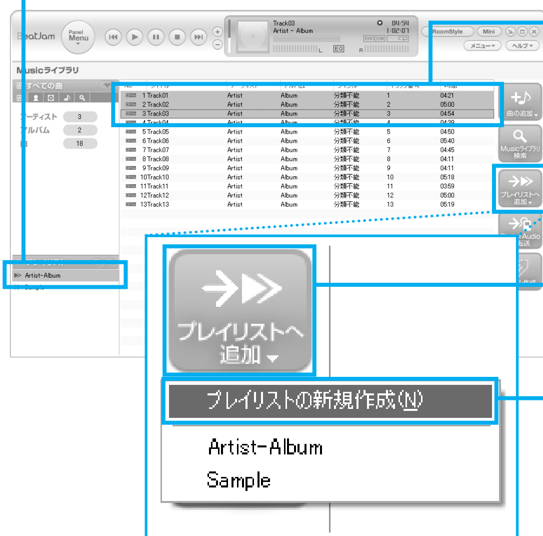
1 Musicライブラリパネルを表示する



Musicライブラリパネルが表示されます。

2 プレイリストに入れたい曲を選択する

① 新規作成するプレイリストに入れたい曲が入っているプレイリストをクリック
ここでは［Artist-Album］をクリックします。



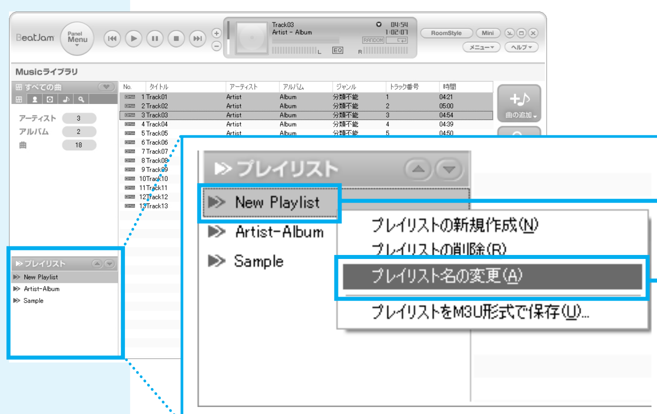
② 入れたい曲を選択する
曲を複数選択したいときは、CTRLキーを押したまま曲をクリックします。

③［プレイリストへ追加］をクリック

④［プレイリストの新規作成］をクリック

新しいプレイリストが追加されます。
プレイリストの名前は変更できます。

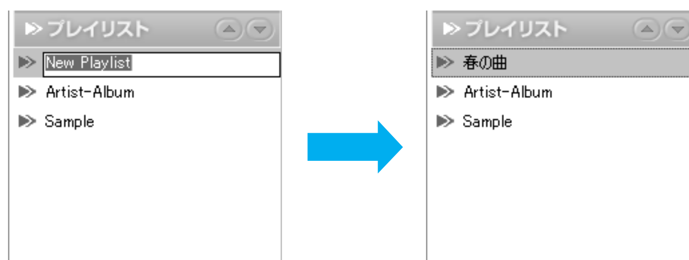
3 プレイリストに名前を付ける



① プレイリストを右クリック

②［プレイリスト名の変更］をクリック

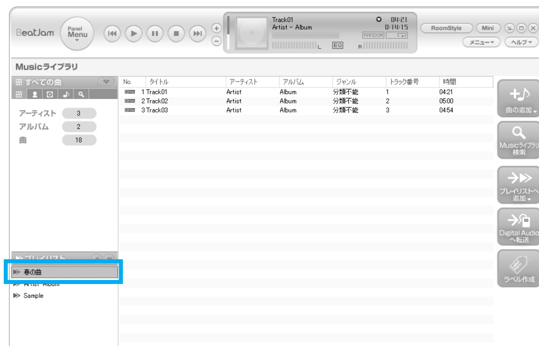
［New Playlist］の名前が変更できる状態になります。キーボードから、名前を入力してください。ここでは「春の曲」と入力します。



3 音楽を聴く

4 プレイリストが完成

新しいプレイリスト（[春の曲]）をクリックして、曲が追加されたことを確認しましょう。





「BeatJam」の問い合わせ先

●ユーザー登録に関するお問い合わせ

ユーザー登録ご相談窓口

受付時間　　：平日　10:00～19:00　土・日・祝日　10:00～17:00
（特別休業日を除く）

TEL　　　　：東京　03-5412-2624　大阪　06-6886-2624

ホームページ　：http://www.justsystem.co.jp/service/

●製品の使い方に関するお問い合わせ

ジャストシステムサポートセンター

＊ サポートセンターへお問い合わせの際には、お客様のUser IDおよび製品のシリアルナンバーが必要です。

受付時間　　：平日　10:00～19:00　土・日・祝日　10:00～17:00
（特別休業日を除く）

TEL　　　　：東京　03-5412-3980　大阪　06-6886-7160

ホームページ　：http://support.justsystem.co.jp/

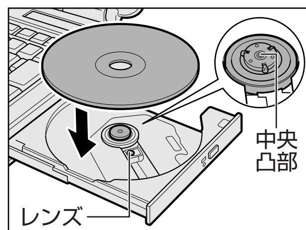
② Windows Media Playerを使う

1 音楽CDを聴く

ここでは、音楽CDを聴く方法を説明します。ドライブに音楽CDをセットするだけで、「Windows Media Player」を起動することができます。

1 ドライブに音楽CDをセットする

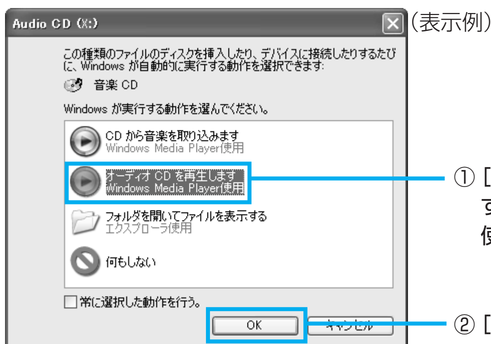
購入したモデルによってイジェクトボタン、イジェクトホール、ディスクトレイLEDの位置は異なります。



2 操作の目的を選択する

［Audio CD］画面が起動しなかったときは、［スタート］→［すべてのプログラム］→［Windows Media Player］をクリックしてください。

［オーディオCDを再生します Windows Media Player使用］が表示されていない場合は、 または をクリックして表示してください。

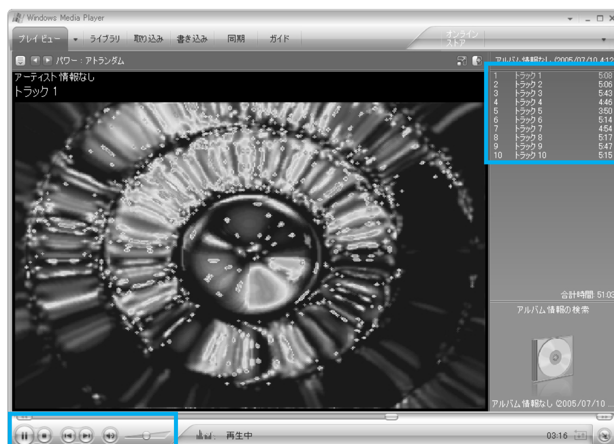




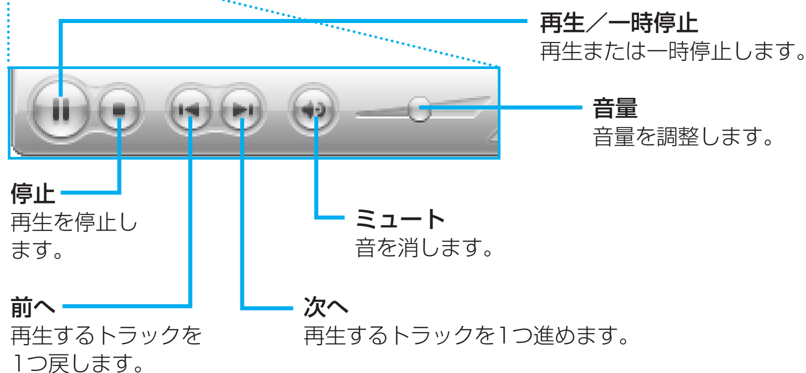
はじめて起動したときは、オプションを設定する画面とライブラリにハードディスクドライブ内の音楽ファイルを追加する画面が表示されます。［Windows Media Playerへようこそ］画面では、指示に従ってプライバシーオプションとインストールオプションを設定してください。
［インストールオプションの変更］画面では、［ファイルの種類］タブで［DVDビデオ］のチェックをはずしてください。
［DVDビデオ］をチェックして設定すると、［Windows Media Player］でDVD-Videoが再生されます。
［Windows Media Player］を使用してDVD-Videoを再生すると、表示が乱れたり、再生できない場合があるため、DVD-Video再生には、［InterVideo WinDVD］を使用してください。

自動的に音楽CDの1曲目から再生されます。
画面に用意されている各ボタンで操作してください。

プレイビューの操作画面



曲をクリックすると、その曲から再生を開始できます。曲を選択しない場合は、1番上に表示されている曲から順番に再生されます。

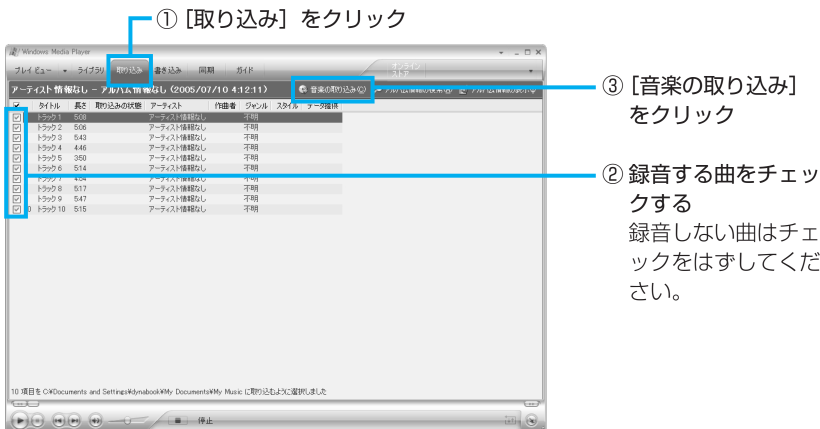


2 音楽ファイルを作る／聴く

ここでは、音楽CDの曲をパソコンに録音して、音楽ファイルを作る方法を説明します。
あらかじめ、ドライブに音楽CDをセットしておいてください。

1 音楽CDから録音を開始する

「本項 1 音楽CDを聴く」の手順2［Audio CD］画面で［CDから音楽を取り込みます Windows Media Player使用］をクリックしても、［取り込み］画面を起動できます。

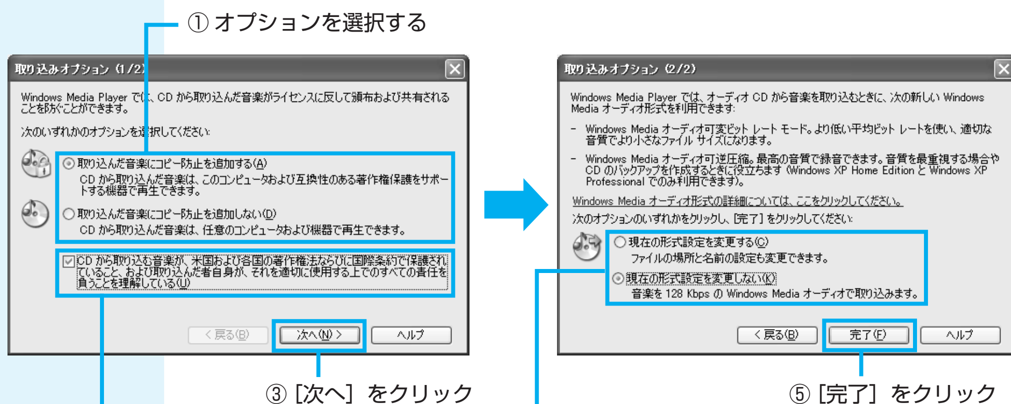


［取り込みオプション(1/2)］画面が表示されます。

2 ライセンスと録音形式を設定する

ライセンスに関する説明をよくお読みください。

［取り込みオプション(2/2)］画面が表示されます。



②著作権法や国際条約に関する責任についての項目をクリック

④録音形式を選択
［現在の形式設定を変更する］を選択すると、［WMA形式］と［MP3形式］から選択できます。デジタルオーディオプレーヤで音楽ファイルを再生する場合には、プレーヤで再生できるファイル形式を確認し、選択してください。



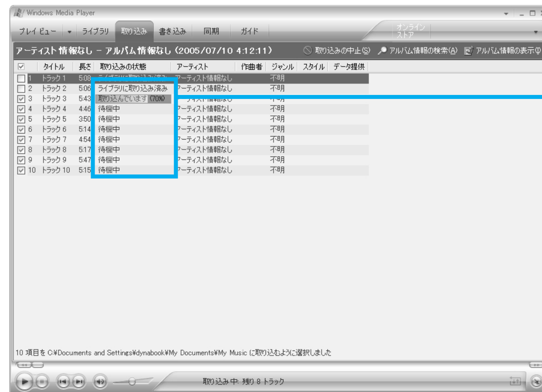
メモ

- CDから取り込む音楽の著作権や国際条約に関する項目をチェックしないと、操作を続行できません。

MP3形式
音楽データの容量を圧縮する技術で、MPEG1に規定されている。インターネットでの音楽配信に利用されている

音楽CDの曲がパソコンに録音され、音楽ファイルの作成が始まります。

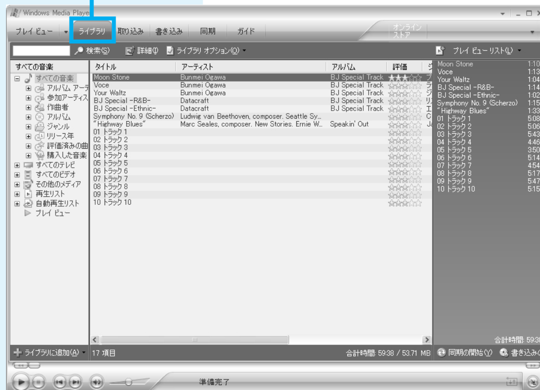
3 録音を完了する



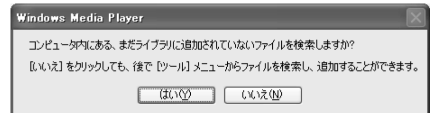
選択した曲すべての［取り込みの状態］欄に「ライブラリに取り込み済み」と表示されたら、録音完了です。

4 音楽ファイルを再生する

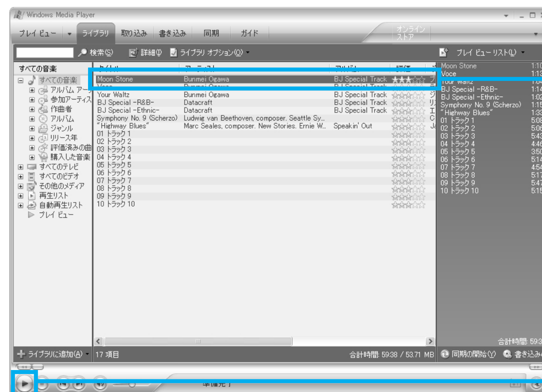
① ［ライブラリ］をクリック
　録音した曲のリストが表示されます。



ライブラリ検索の画面が表示される場合があります。



② コンピュータ内の他のファイルを検索したい場合は［はい］を、必要ない場合は［いいえ］をクリック



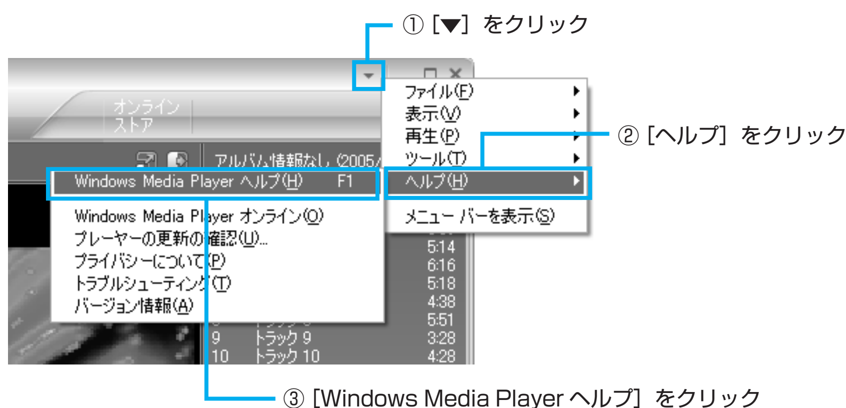
③ 再生したい曲をクリック

④ ［再生］をクリック

音楽ファイルの再生が始まります。

ヘルプの起動方法

「Windows Media Player」についての詳細は、ヘルプを確認してください。起動方法は、次のとおりです。



「Windows Media Player」の問い合わせ先

東芝（東芝PCあんしんサポート）

全国共通電話番号　：0120-97-1048（通話料・電話サポート料無料）
技術相談窓口受付時間　：9:00〜19:00（年中無休）

システムメンテナンスのため、サポートを休止させていただく場合があります。
海外からの電話、携帯電話、PHSまたは直収回線など回線契約によってはつながらない場合がございます。その場合はTel 043-298-8780（通話料お客様負担）にお問い合わせください。

4 オリジナル音楽CDを作る

音楽CDを作る前に、「付録 1-5「TOSHIBA Disc Creator」を使うために」をよくお読みください。

オリジナルの音楽CDを作るには、「TOSHIBA Disc Creator」を使います。パソコンに音楽CDから曲を取り込んで、好きな曲を1つのCDにまとめることができます。

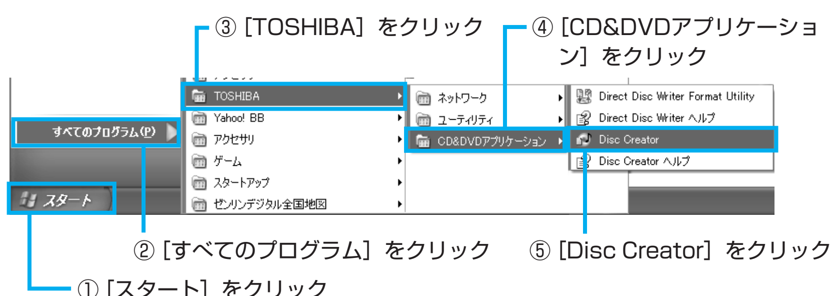
オリジナル音楽CDを作るには、CD-RW、CD-Rを使います。
作成したCD-RWは、再生機器によっては、再生できないことがあります。

① オリジナル音楽CDを作る

ここでは、既成の音楽CDから、曲をいったんパソコンに取り込み、その後CD-Rに書き込んで音楽CDを作る方法を説明します。

1 起動する

「TOSHIBA Disc Creator」を起動したとき、音楽CDの情報をインターネットから取得するための「Windows Media Player」の設定に関する画面が表示される場合があります。必要に応じて「Windows Media Player」の設定を行ってください。設定方法については、「Windows Media Player」のヘルプを参照してください。

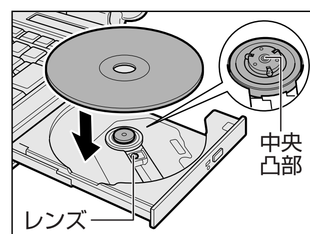


2 ［音楽CD作成］をクリックする



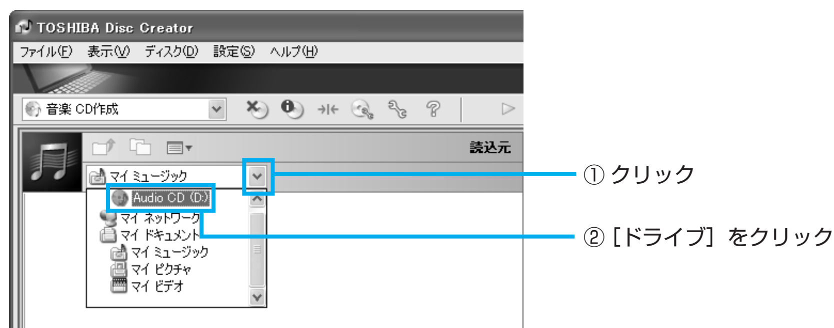
3 ドライブに音楽CDをセットする

購入したモデルによってイジェクトボタン、イジェクトホール、ディスクトレイLEDの位置は異なります。

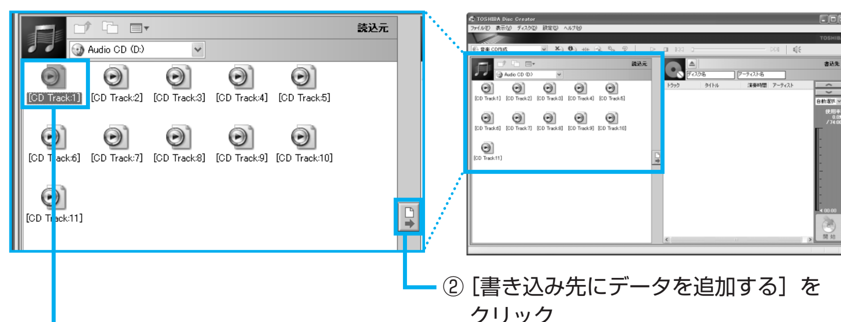


音楽CDをセットした後に、［Audio CD］画面が表示された場合は、［キャンセル］ボタンをクリックしてください。

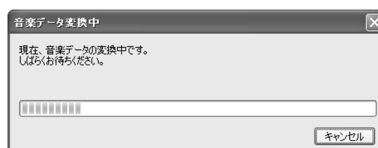
4 ドライブを選択する



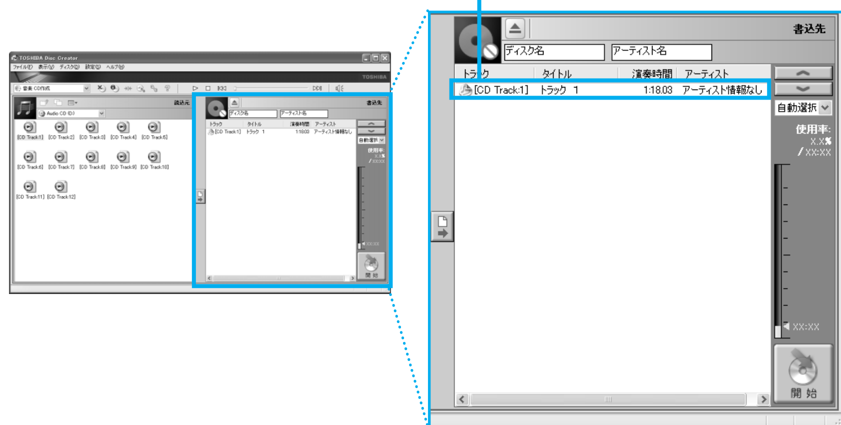
5 書き込みたい曲（トラック）を選択する



曲は、「Track」と表示されます。曲を複数選択したい場合は、CTRL キーを押したまま目的の曲をクリックしてください。



選択した曲を、いったんパソコンのハードディスクに取り込みます。取り込みの進捗状態が表示されます。





- 曲順を入れ替えたい場合には、トラックを選択して移動したい位置へドラッグアンドドロップします。

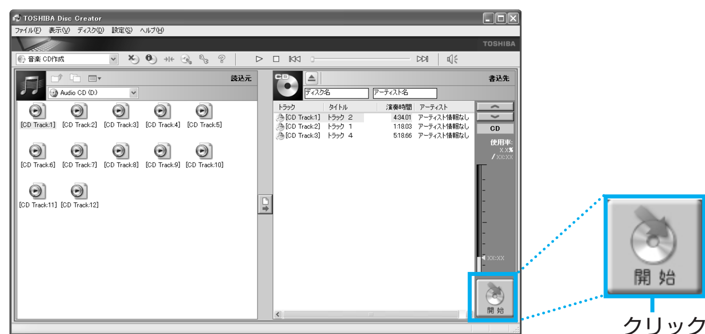
4 オリジナル音楽CDを作る

6 音楽CDを入れ替え、手順5をくり返す

他の音楽CDからも曲を取り込みたい場合に行ってください。

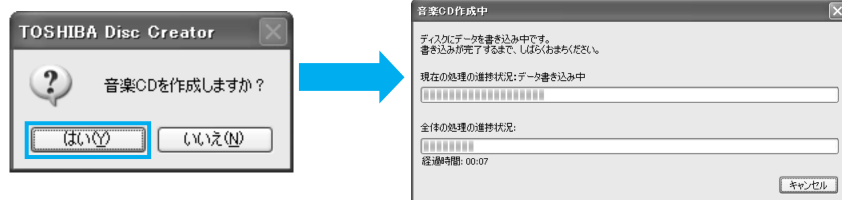
7 ドライブから音楽CDを取り出し、未使用のCD-R、CD-RWまたは消去してよいCD-RWをセットする

8 ［開始］ボタンをクリックする



9 メッセージを確認し、［はい］ボタンをクリックする

書き込み中は、次の画面が表示されます。



CDの書き込みが終了すると、自動的にディスクトレイが開きます。

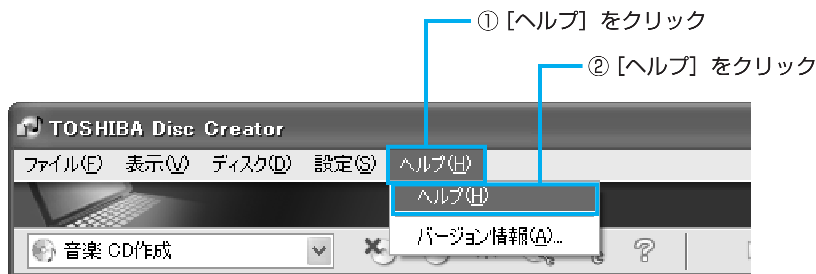
10 ［いいえ］ボタンをクリックする



さらに同じ内容のCDを作りたい場合は、未使用のCD-Rと入れ替えて、［はい］ボタンをクリックしてください。

ヘルプの起動方法

「TOSHIBA Disc Creator」についての詳細は、ヘルプを確認してください。起動方法は、次のとおりです。



「TOSHIBA Disc Creator」の問い合わせ先

東芝（東芝PCあんしんサポート）

全国共通電話番号　　　：0120-97-1048（通話料・電話サポート料無料）
技術相談窓口 受付時間 ：9:00～19:00（年中無休）

システムメンテナンスのため、サポートを休止させていただく場合があります。
海外からの電話、携帯電話、PHSまたは直収回線など回線契約によってはつながらない場合がございます。その場合はTel 043-298-8780（通話料お客様負担）にお問い合わせください。

5 音楽の環境を整える

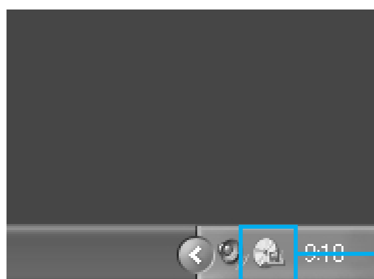
本製品には、より良い状態でパソコンを楽しんでいただくために、音質を調整する機能が用意されています。目的にあわせてご使用ください。

① ドライブの動作音を小さくする

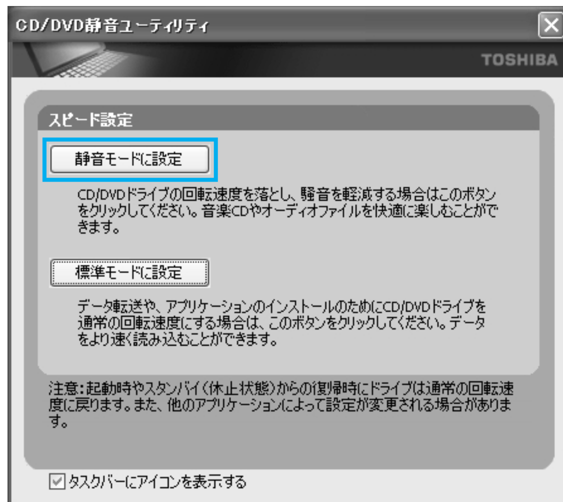
＊ 静音効果は、使用条件や個人の感覚によって異なります。

音楽CDを楽しんでいるときに、ドライブの動作音が気になるときは、「CD/DVD静音ユーティリティ」を使ってみましょう。
ドライブの回転速度をおさえ、動作音を小さくします。

1 ［CD/DVD静音ユーティリティ］アイコンをダブルクリックする



2 ［静音モードに設定］ボタンをクリックする

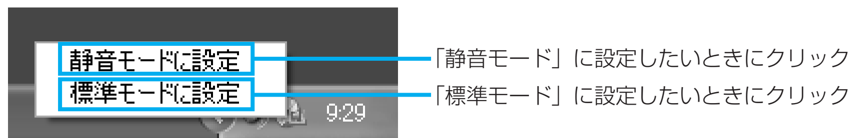


［タスクバーにアイコンを表示する］のチェックをはずすと、通知領域のアイコン（ ）が消えます。
この場合、「CD/DVD静音ユーティリティ」を起動するには、［コントロールパネル］→［パフォーマンスとメンテナンス］→［ CD/DVD静音ユーティリティ］をクリックします。
通知領域にアイコン（ ）をもう1度表示するには、［タスクバーにアイコンを表示する］をチェックしてください。

画面が閉じて、静音モードに設定されます。
これでドライブの動作音が小さくなります。

役立つ操作集

通知領域の［CD/DVD静音ユーティリティ］アイコン（ ）を右クリックし、表示されたメニューから、モードを選択することもできます。



音楽CDを聴き終わった後は、「標準モード」に設定し直してください。「静音モード」に設定しているとCDの読み出し速度が遅くなるため、「標準モード」よりもCDの読み出しに時間がかかります。
「静音モード」に設定しても、次のような場合は、「標準モード」に切り替わります。

- システムを再起動したとき
- スタンバイ、休止状態から復帰したとき
- 「TOSHIBA Disc Creator」、「TOSHIBA Direct Disc Writer」、「TOSHIBA Recovery Disc Creator」でCD／DVDの書き込み／編集を行うとき
- CD速度を設定するアプリケーションを使用したとき

「CD/DVD静音ユーティリティ」の問い合わせ先

東芝（東芝PCあんしんサポート）

全 国 共 通 電 話 番 号　：0120-97-1048（通話料・電話サポート料無料）
技術相談窓口受付時間　：9:00～19:00（年中無休）

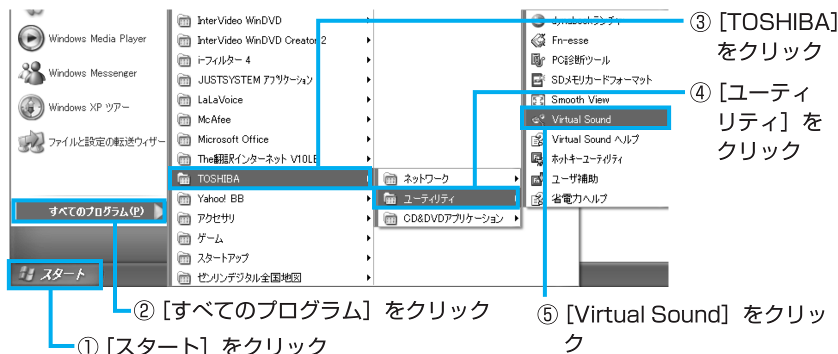
システムメンテナンスのため、サポートを休止させていただく場合があります。
海外からの電話、携帯電話、PHSまたは直収回線など回線契約によってはつながらない場合がございます。その場合はTel 043-298-8780（通話料お客様負担）にお問い合わせください。

② 状況にあわせて音質を調整する

＊ご購入のモデルにプレインストールされているかどうかは、別紙の『同梱物一覧』を確認してください。

「TOSHIBA Virtual Sound」は、SRS社のSRS WOW HD（エスアールエス・ワウ・エイチディ）やSRS TruSurround XT（エスアールエス・トゥルーサラウンド・エックスティー）技術、Circle Surround Xtract（サークル・サラウンド・エクストラクト）技術を使い、音楽や音声を聴く環境にあわせて、サウンドの音質を調整するユーティリティです。SRS WOW HDやSRS TruSrround XT技術、Circle Surround Xtract技術の音響強化機能を利用して、お好みの音質でサウンドをお楽しみいただけます。

1 起動する



「TOSHIBA Virtual Sound」が起動します。
［詳細設定を開く］ボタンをクリックすると、さらに詳細な調節を行うことができます。



メモ

- ［オプション］ボタンをクリックすると、SRS WOW HD、SRS TruSurround XT、Circle Surround Xtractの動作を変更できます。

機能や操作の詳細は「TOSHIBA Virtual Sound」のヘルプを確認してください。ここでは機能の概要を紹介します。

4つのリスニング環境のそれぞれに適した音質を設定する（リスニング環境）
［内蔵スピーカー］［外部接続スピーカー］［開放型ヘッドフォン］［密閉型ヘッドフォン］の中から、お使いの環境に合わせたモードを選択でき、それぞれに適した音質を設定できます。

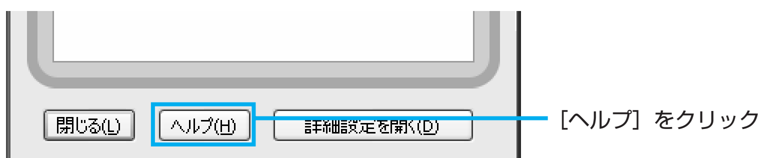
サウンドのステレオ感を調節する（サラウンドの制御）
音の広がりをお好みにより設定できます。

低音感を調節する（低音の制御）
音の出力レベルとスピーカーサイズを調節することにより、低音感をお好みにより設定できます。

サウンドのクリア感を調節する（高音の制御）
音のクリア感をお好みにより設定できます。

ヘルプの起動方法

「TOSHIBA Virtual Sound」についての詳細は、ヘルプを確認してください。起動方法は次のとおりです。



「TOSHIBA Virtual Sound」の問い合わせ先

東芝（東芝PCあんしんサポート）

全 国 共 通 電 話 番 号　：0120-97-1048（通話料・電話サポート料無料）
技術相談窓口受付時間　：9:00～19:00（年中無休）

システムメンテナンスのため、サポートを休止させていただく場合があります。
海外からの電話、携帯電話、PHSまたは直収回線など回線契約によってはつながらない場合がございます。その場合はTel 043-298-8780（通話料お客様負担）にお問い合わせください。

6 デジタルカメラの写真を編集する

TX/9シリーズ、AX/9シリーズのみ

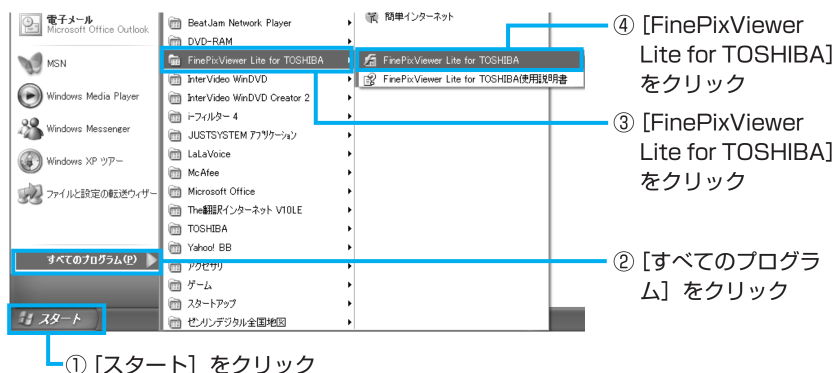
デジタルカメラで撮った写真などの画像を編集するには、「FinePixViewer Lite（ファインピックスビューワー ライト）」を使います。文字を書き込むなどの編集操作を簡単に行うことができます。

① 写真を編集する

ここでは、デジタルカメラで撮った写真などの画像をパソコンにファイルとして取り込んだ状態で、編集をする場合について説明します。デジタルカメラからパソコンへの取り込みかたは、接続するデジタルカメラによって異なります。
詳しくは、『デジタルカメラに付属の説明書』を確認してください。

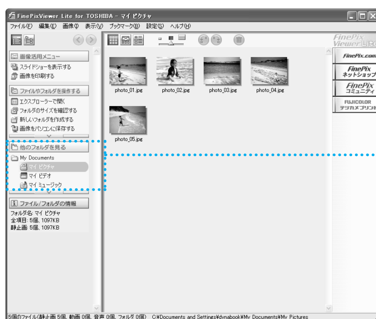
1 起動する

初めて起動したときは、［ソフトウェア使用許諾契約］画面が表示されます。
使用許諾契約を確認のうえ、［同意します］ボタンをクリックしてください。



2 編集したい画像を表示する

初期状態では、［マイ ドキュメント］の［マイ ピクチャ］に保存されている画像を表示します。

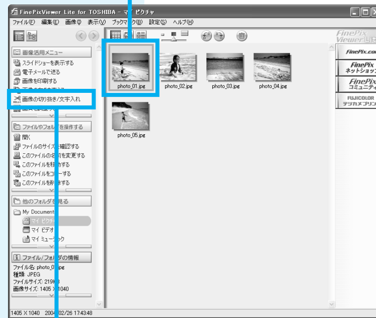


他のフォルダに保存している画像を表示したい場合は、［他のフォルダを見る］欄で場所を指定してください。

3 画像を編集する

ここでは、画像に文字を追加します。

① 編集したい画像をクリック



② ［画像の切り抜き／文字入れ］をクリック

画面中央の作業領域に、画像が表示されます。



4 ［文字入れ］タブをクリックする



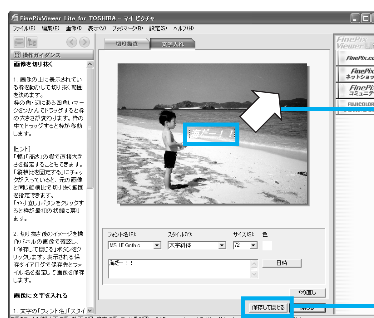
5 文字を入力する



② フォント、色などを指定

① クリックして文字を入力

6 文字を囲んでいる枠をドラッグして、位置を調整する



① 文字の囲みを希望の位置までドラッグ

② ［保存して閉じる］をクリック

7 保存して完了する



① 保存先を指定する

② ファイル名を入力する

③［保存］をクリック





メモ

「FinePixViewer Lite」では、次のような画像の編集もできます。

- 画像の切り抜き　　　　：画像を切り抜きます。
- 画像の向きを変える　　：画像の向きを変更できます。
- 画質を調整する　　　　：明るさや色合いなどを調整したり、セピア／白黒、くっきり／ぼかしの加工ができます。
- 赤目を修正する　　　　：フラッシュなどで赤目になっている画像を修正します。
- 画像サイズを変更する：画像のサイズを変更できます。

「FinePixViewer Lite」では、他にも次のようなことができます。

- デジタルカメラの画像をパソコンに取り込む
- 画像を印刷する
- スライドショーを行う
- インターネットを使ってデジカメプリントを注文する

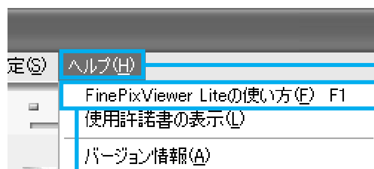
など

詳細は、ヘルプを確認してください。



ヘルプの起動方法

「FinePixViewer Lite」についての詳細は、ヘルプを確認してください。起動方法は、次のとおりです。



① メニューバーの［ヘルプ］をクリック

②［FinePixViewer Liteの使い方］をクリック



「FinePixViewer Lite」の問い合わせ先

東芝（東芝PCあんしんサポート）

全国共通電話番号　：0120-97-1048（通話料・電話サポート料無料）

技術相談窓口受付時間　：9:00～19:00（年中無休）

システムメンテナンスのため、サポートを休止させていただく場合があります。
海外からの電話、携帯電話、PHSまたは直収回線など回線契約によってはつながらない場合がございます。その場合はTel 043-298-8780（通話料お客様負担）にお問い合わせください。

② 編集した写真をCD／DVDにコピーする

データCD／DVDを作る前に、「付録 1-4 「TOSHIBA Disc Creator」を使うために」と「付録 1-5 データCD／DVDを作るにあたって」をよくお読みください。

本製品には、CD／DVDにデータを書き込むアプリケーションとして、「TOSHIBA Disc Creator」と「TOSHIBA Direct Disc Writer」が用意されています。お好みで使い分けてください。

- TOSHIBA Disc Creator
  一般的に互換性の高いCD-R、DVD-R、DVD+Rに書き込めるので、配布・保存に適しています。
- TOSHIBA Direct Disc Writer
  CD-RW、DVD-RW、DVD+RWにしか書き込めないのですが、書き込み手順が簡単なので、一時保存→上書きと繰り返す場合に適しています。

1 TOSHIBA Disc Creatorを使う



- CD-R、CD-RWなどにデータを書き込んだ場合、データを保護するために「読み取り専用」になっていて、記録ができない場合があります。データを使うときには、1度ハードディスクドライブなどにコピーしてからそのデータを右クリック→［プロパティ］で、［読み取り専用］のチェックをはずしてください。

ここでは、パソコンに保存されているデータをCD-R／DVD-Rに書き込んで、データCD／DVDを作る方法を説明します。

書き込み可能なメディア

○：使用できる　×：使用できない

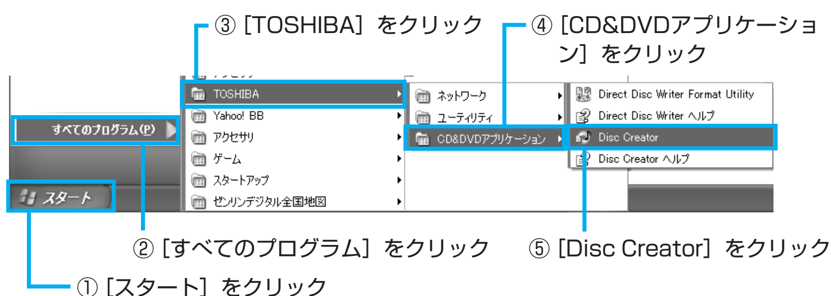
CD-R	CD-RW	DVD-R	DVD-RW	DVD+R	DVD+RW	DVD-RAM
○	○	○*1・2	○*1	○*1・3	○*1	×

*1 DVD-Video、DVD-Audioの作成はできません。また、DVD プレーヤなどで使用することはできません。
*2 DVD-R DLを含みます。なお、DVD-R DLには追記ができません。
*3 DVD+R DLを含みます。

1 あらかじめ書き込みたいデータを用意しておく

2 起動する

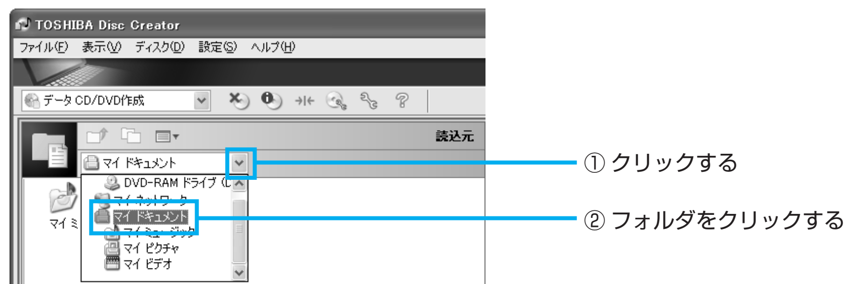
「TOSHIBA Disc Creator」を起動したとき、音楽CDの情報をインターネットから取得するための「Windows Media Player」の設定に関する画面が表示される場合があります。必要に応じて「Windows Media Player」の設定を行ってください。設定方法については、「Windows Media Player」のヘルプを参照してください。



3 ［データCD/DVD作成］をクリックする



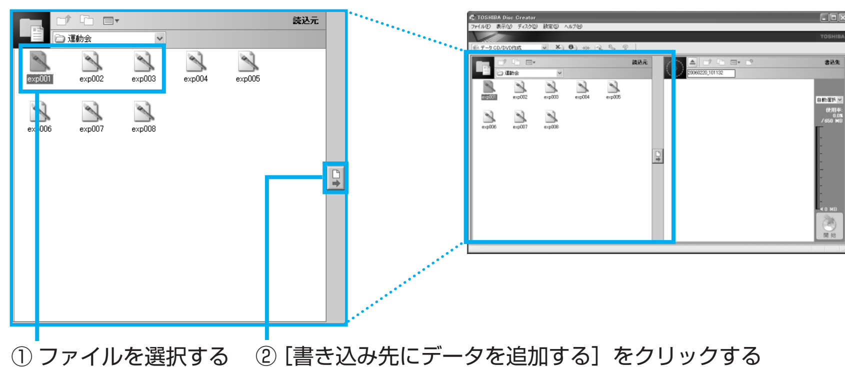
4 書き込みたいフォルダやファイルのある場所をクリックする



5 書き込みたいフォルダやファイルを指定する



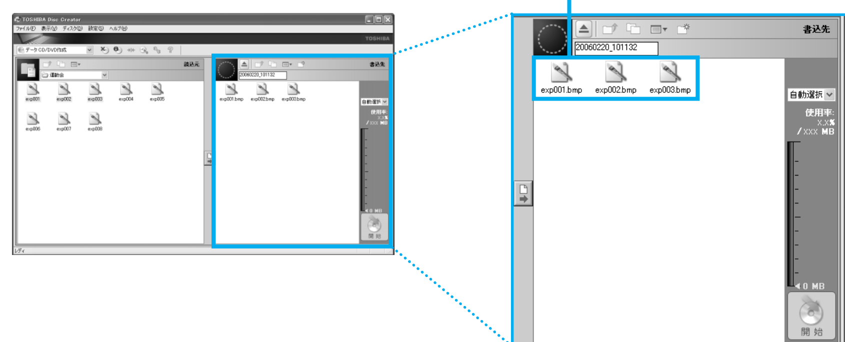
● CTRLキーを押しながらフォルダやファイルをクリックすると複数指定できます。



① ファイルを選択する　② ［書き込み先にデータを追加する］をクリックする

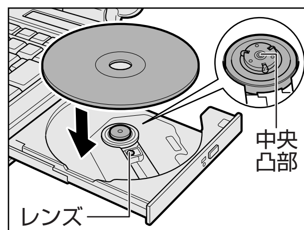


書き込むデータの一覧

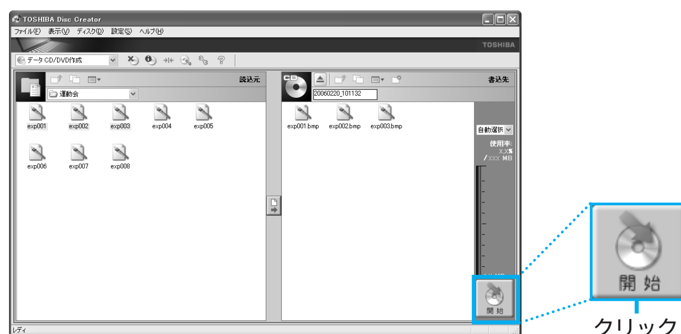


購入したモデルによってイジェクトボタン、イジェクトホール、ディスクトレイLEDの位置は異なります。

6 未使用のCD／DVD、または追記可能なCD／DVDをドライブにセットする

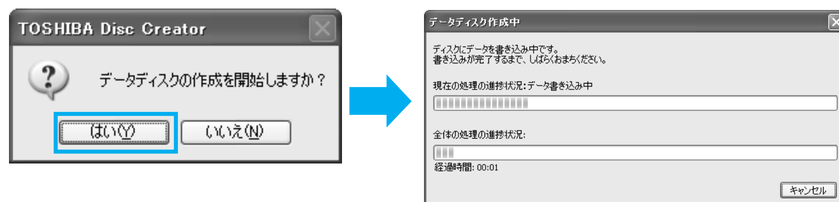


7 ［開始］ボタンをクリックする



8 メッセージを確認し、［はい］ボタンをクリックする

書き込み中は、次の画面が表示されます。



CD／DVDへの書き込みが終了すると、自動的にディスクトレイが開きます。

9 ［いいえ］ボタンをクリックする



●「TOSHIBA Disc Creator」のヘルプの起動方法については、「4 オリジナル音楽CDを作る」を参照してください。



さらに同じ内容のCDを作りたい場合は、未使用のCD-Rと入れ替えて、［はい］ボタンをクリックしてください。

「TOSHIBA Disc Creator」については、東芝PCあんしんサポート（巻末参照）にお問い合わせください。

2 TOSHIBA Direct Disc Writerを使う

「TOSHIBA Direct Disc Writer」を使う前に、「付録 1-6 「TOSHIBA Direct Disc Writer」を使うために」をよくお読みください。

書き込み可能なメディア

○：使用できる　×：使用できない

CD-R	CD-RW	DVD-R	DVD-RW	DVD+R	DVD+RW	DVD-RAM
×	○*1	×	○*1	×	○*1	×

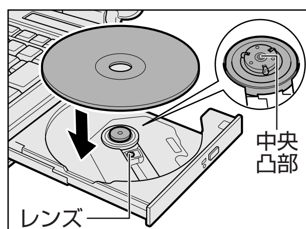
＊1 新品のCD-RW、DVD-RW、DVD+RWを「TOSHIBA Direct Disc Writer」で使用するためには、あらかじめフォーマットが必要です。

CD／DVDをフォーマットする

初めて「TOSHIBA Direct Disc Writer」で使用するCD／DVDは、使用前に「TOSHIBA Direct Disc Writer Format Utility」でのフォーマットが必要です。次の手順でフォーマットを行ってください。

1 ドライブにフォーマットしたいCD／DVDをセットする

購入したモデルによってイジェクトボタン、イジェクトホール、ディスクトレイLEDの位置は異なります。

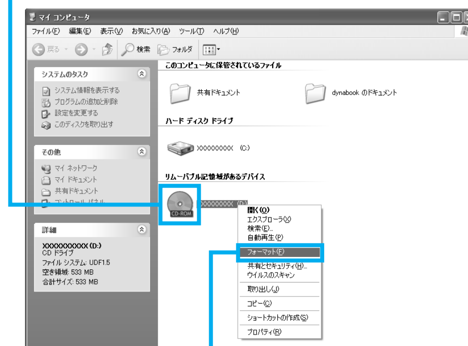


2 ［マイ コンピュータ］を表示する



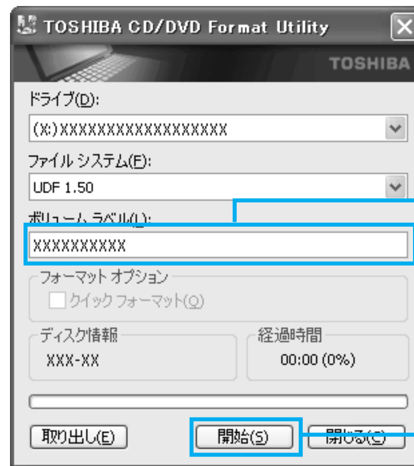
3 ［フォーマット］を選択する

① CD/DVDドライブのアイコンを右クリック



② ［フォーマット］をクリック

4 フォーマットを実行する



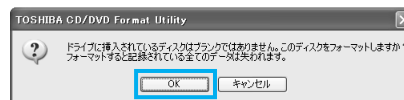
① ボリュームラベル名を入力

② ［開始］をクリック



- 「TOSHIBA Direct Disc Writer Format Utility」で初めてフォーマットするCD／DVDの場合は、「フォーマットオプション」を選択できません。
  「TOSHIBA Direct Disc Writer Format Utility」でフォーマットしたことがあるCD／DVDの場合はチェックをつけ、クイックフォーマットを行うことができます。

5 メッセージを確認し、［OK］ボタンをクリックする





フォーマットの進行状況が表示されます。

6 [OK] ボタンをクリックする



フォーマットが完了しました。

他のCD／DVDも続けてフォーマットする場合は、CD／DVDを入れ替えて、手順4から実行します。フォーマットを終了する場合は、[TOSHIBA CD/DVD Format Utility] 画面で [閉じる] ボタンをクリックしてください。



データをCD／DVDに書き込む

「TOSHIBA Direct Disc Writer Format Utility」でフォーマットしたCD／DVDにデータを書き込む方法を説明します。「TOSHIBA Direct Disc Writer」では1枚のCD／DVDに繰り返し書き込むことができます。あらかじめ書き込みたいデータを準備し、ドライブにCD／DVDをセットしておいてください。

1 書き込みたいデータを表示する

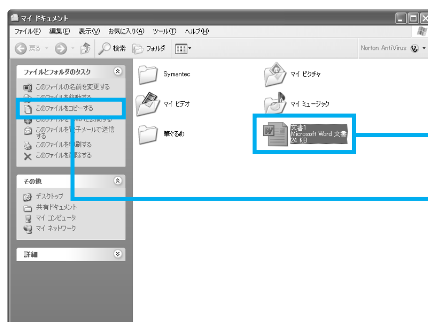
ここでは、[マイドキュメント] に保存している「文書1」を表示します。



② [マイ ドキュメント] をクリック

① [スタート] をクリック

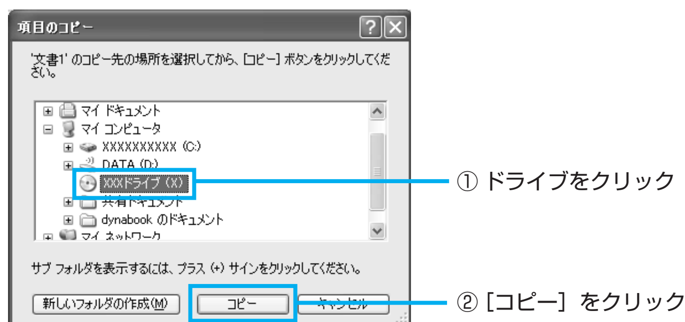
2 コピーするデータを選択する



① [文書1] を右クリック

② [このファイルをコピーする] をクリック

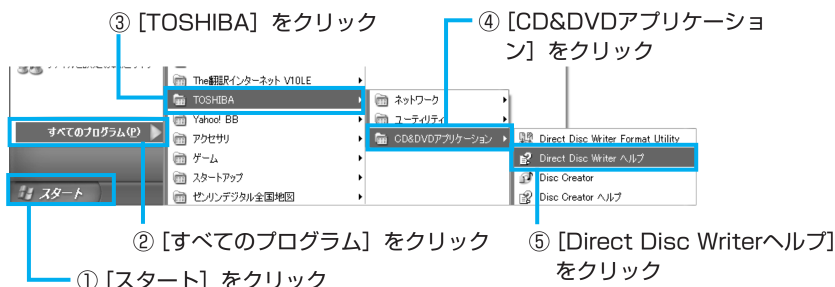
3 データをコピーする



データが書き込まれます。

ヘルプの起動方法

「TOSHIBA Direct Disc Creator」についての詳細は、ヘルプを確認してください。起動方法は次のとおりです。



「TOSHIBA Direct Disc Creator」については、東芝PCあんしんサポート（巻末参照）にお問い合わせください。

7 Q&A集

ここでは、本書で説明している機能についてのトラブル解消方法を、Q&A形式で説明しています。
パソコンの操作全般についてのQ&A集は、『活用ガイド』、《おたすけナビ》、《よくあるご質問》に記載していますので、あわせてお読みください。

Q DVD-Video、動画ファイルを見ようとすると、映像が表示されない

A 「Windows Media Player」、「WinDVD」、「WinDVD Creator 2 Platinum」＊1などのアプリケーションを複数起動させ、AVIファイル、MPEGファイル、DVD-Videoなどを再生すると、映像が表示されない場合があります。
起動しているアプリケーションを終了させた後、使用したいアプリケーションを起動させてください。

＊1 TX/9シリーズ、AX/9シリーズのみ

Q サウンド再生時に音飛びが発生する

A PCカード接続のハードディスクドライブまたはドライブの動作中にサウンドの再生を行うと、音飛びが発生する場合があります。

Q CD-ROM、DVD-ROMのデータを読み出せない 音楽CDの再生中に音飛びする

A CD、DVD、音楽CDが正しくセットされていない可能性があります。
CD、DVD、音楽CDの表裏を確認し、水平にセットしてください。

A CD、DVD、音楽CDが汚れている可能性があります。
乾いた柔らかい布で内側から外側に向かってふいてください。

A CD、DVD、音楽CDに傷がついていないか確認してください。
傷ついているCD、DVD、音楽CDは使えないことがあります。

A CD／DVDがシステムに対応していない可能性があります。
アプリケーションなどのCD／DVDは、使用できるシステム（OS）が限られている場合があります。
『CD／DVDに付属の説明書』を確認してください。

Q Windows上で、DVD-Videoをドライブにセットしたときに、再生するアプリケーションを選択する画面が表示されない

A 次の手順で設定を変更してください。
① ［スタート］→［マイコンピュータ］でドライブのアイコンを右クリックし、［プロパティ］をクリックする
② ［自動再生］タブで［DVDムービー］を選択し、［動作］で［動作を毎回選択する］をチェックする
③ ［OK］ボタンをクリックする

Q 再生中の動画がとぎれる 動画がなめらかに再生されない

A DVD-Videoの再生には、「InterVideo WinDVD」を使用してください。

「Windows Media Player」やその他市販ソフトを使用してDVD-Videoを再生すると、表示が乱れたり、再生できない場合があります。このようなときは、「InterVideo WinDVD」を起動し、DVD-Videoを再生してください。

A Windows上でのDVD-Video再生時は、なるべくACアダプタを接続してください。

省電力機能が働くと、スムーズな再生ができない場合があります。バッテリ駆動で再生する場合は「東芝省電力」のプロファイルを「DVD再生」に設定してください。
また、使用するDVDディスクのタイトルによってはコマ落ちするケースがあります。

A CD-ROM、DVD-Videoからデータを読み込んでいる可能性があります。

CD-ROM、DVD-Videoからデータを読み込んでいるときは、再生が止まる場合があります。

A 動画の再生中に、他のアプリケーションを実行していないか確認してください。

複数のアプリケーションを同時に使うと、動画データの処理が追いつかなくなり、画像がとぎれたり、なめらかに再生されなくなります。他のアプリケーションを終了してください。

A 動画の再生中にウィンドウの大きさや位置を変更すると、音とびや画像の乱れの原因になります。

Q 映像をハードディスクに取り込むことができない

A ハードディスクの空き容量が不足している可能性があります。

録画した映像をDVDに書き込み、必要のなくなったデータを削除して、ハードディスクの空き容量を増やしてください。

A パソコンとビデオカメラが正しく接続されていない可能性があります。

参照 周辺機器の接続『活用ガイド 3章 周辺機器を使って機能を広げよう』

A デジタルビデオカメラからi.LINKコネクタを使って映像の取り込みや録音を行うときは「InterVideo WinDVD Creator 2 Platinum」*1 や「Windowsムービーメーカー」を使用してください。

＊1 TX/9シリーズ、AX/9シリーズのみ

それ以外のアプリケーションでは動作保証していません。市販のアプリケーションは使用しないでください。

Q 「WinDVD Creator2 Platinum」を使って、デジタルビデオカメラへ映像を書き戻しすると、音がとぎれる

＊TX/9シリーズ、AX/9シリーズのみ



i.LINK（IEEE1394）経由でデジタルビデオカメラを接続し、「WinDVD Creator2 Platinum」を使って、デジタルビデオカメラへ映像を書き戻しすると、音がとぎれることがあります。

その場合は、次の手順を行ってください。

① ［コントロールパネル］を開き、［パフォーマンスとメンテナンス］をクリックする

② ［システム］をクリックする
［システムのプロパティ］画面が表示されます。

③ ［詳細設定］タブで、［パフォーマンス］の［設定］ボタンをクリックする
［パフォーマンス オプション］画面が表示されます。

④ ［詳細設定］タブで、［仮想メモリ］の［変更］ボタンをクリックする
［仮想メモリ］画面が表示されます。

⑤ ［選択したドライブのページングファイルサイズ］で［カスタムサイズ］を選択する

⑥ ［初期サイズ］を「500」以上、［最大サイズ］を「1000」以上に変更する

⑦ ［設定］ボタンをクリックする

⑧ ［OK］ボタンをクリックする

⑨ ［パフォーマンス オプション］画面の［OK］ボタンをクリックする

⑩ ［システムのプロパティ］画面の［OK］ボタンをクリックする

Q 「BeatJam」が起動できない

＊TX/9シリーズ、AX/9シリーズのみ

（OMGファイル、MP3ファイル、WMAファイル、WAVファイル、CD Audio トラックをダブルクリックしても、「BeatJam」で再生できない場合）



「Windows Media Player」の初回起動時に、音楽再生アプリケーションの設定が変更された可能性があります。

次の手順に従って、「BeatJam」が起動するように設定してください。

① ［スタート］→［すべてのプログラム］→［BeatJam］→［BeatJam］をクリックする
「BeatJam」が起動します。

② CDパネルの［メニュー］→［オプション］を選択する

③ ［関連付け］タブで［OpenMG Audioファイル（oma, omg）］、［MP3ファイル（mp3）］、［Windows Media Audioファイル（wma）］、［WAVファイル（wav）］、［CD Audio トラック（cda）］をチェックする

④ ［OK］ボタンをクリックする

Q 音楽ファイルをメモリースティックにチェックアウトできない

＊TX/9シリーズ、AX/9シリーズのみ



メモリースティックまたはメモリースティックスロットがMagicGate対応していない可能性があります。

「BeatJam」を使用してOpenMG形式の音楽ファイルをメモリースティックにチェックアウトするには、メモリースティックメディアおよびメモリースティックスロットがMagicGate対応している必要があります。なお、本製品のスロットは、MagicGate対応していません。

付録 1 ご使用にあたってのお願い

お願い

本書で説明している機能をご使用にあたって、知っておいていただきたいことや守っていただきたいことがあります。次のお願い事項を、本書の各機能の説明とあわせて必ずお読みください。

1 Windows上でのDVD-Videoの再生にあたって

- DVD-Videoの再生には、「InterVideo WinDVD」を使用してください。「Windows Media Player」やその他市販ソフトを使用してDVD-Videoを再生すると、表示が乱れたり、再生できないことがあります。このようなときは、「InterVideo WinDVD」を起動し、DVD-Videoを再生してください。
- DVD-Video再生ソフト「InterVideo WinDVD」は、Video CD、Audio CD、MP3の再生はサポートしていません。
- DVD-Video再生時は、なるべくACアダプタを接続してください。省電力機能が働くと、スムーズな再生ができないことがあります。バッテリ駆動で再生するときは「東芝省電力」で「DVD再生」プロファイルに設定してください。
- DVD-Videoを再生する前に、他のアプリケーションを終了させてください。また、再生中には他のアプリケーションを起動させたり、不要な操作は行わないでください。
  再生中に、常駐しているプログラムの画面やアイコンなどがちらつくときは、「InterVideo WinDVD」を最大表示にしてください。
- Region(リージョン)コードは4回まで変更することができますが、通常は出荷時のままご利用ください。出荷時の状態では、Regionコードが「2」または「ALL」のDVD-Videoをご使用ください。
- 外部ディスプレイまたはテレビに表示するときは、再生する前にあらかじめ表示装置を切り替えてください。また、マルチモニタ（本体液晶ディスプレイと外部ディスプレイまたはテレビの同時表示）の設定では、外部ディスプレイまたはテレビに表示するための設定が必要です。
  本体液晶ディスプレイと外部ディスプレイにクローン表示をしているときDVD-Videoを再生すると、画像がコマ落ちすることがあります。この場合は表示解像度を下げるか、本体液晶ディスプレイまたは外部ディスプレイのみに表示するか、拡張表示に設定してください。

参照 表示装置の切り替え『活用ガイド 3章 周辺機器を使って機能を広げよう』

その他の注意については、「Readme」に記載しています。
「Readme」の起動は、［スタート］→［すべてのプログラム］→［InterVideoWinDVD］→［readme1st.txt］をクリックしてください。

2 「WinDVD Creator」の使用にあたって

TX/9シリーズ、AX/9シリーズのみ

- 「WinDVD Creator」はコンピュータの管理者アカウントで使用してください。
- 本製品にインストールされていない、その他の映像データを取り込むソフトウェアは使用しないでください。
- 「InterVideo WinDVD」などの映像を再生するアプリケーションが動作していると、編集中のプレビューが正しく表示されないことがあります。編集中は他のアプリケーションを終了してください。
- 編集中のプレビューは本体液晶ディスプレイにのみ表示されます。外部ディスプレイには表示されません。
- 著作権保護された映像が保存されているDVDの映像の編集は行えません。
- 著作権保護されているコンテンツは再生できません。
- 「WinDVD Creator」の動作中は、画像の解像度・色数の変更は行わないでください。
- バッテリ駆動で使用中に映像データの取り込みを行うと、バッテリの消耗などによって取り込みに失敗するおそれがあります。必ずACアダプタを使用してパソコン本体を電源コンセントに接続してご使用ください。

3 DVDへの書き込み／ハードディスクへの書き出しについて

■DVDへの書き込み／ハードディスクへの書き出しを行うにあたって■

- バッテリ駆動で使用中に書き込みを行うと、バッテリの消耗などによって書き込みに失敗するおそれがあります。必ずACアダプタを使用してパソコン本体を電源コンセントに接続してご使用ください。
- 書き込みを行うときは、本製品の省電力機能が働かないようにしてください。また、スタンバイや休止状態を実行しないでください。

参照 省電力の設定について《おたすけナビ》

- 次に示すような、ライティングソフトウェア以外のソフトウェアは終了させてください。
  ・スクリーンセーバ　・ディスクのアクセスを高速化する常駐型ユーティリティ
  ・ウイルスチェックソフト　・モデムなどの通信アプリケーション　など
  ソフトウェアによっては動作の不安定やデータの破損の原因となるので、使用しないことを推奨します。
- タッチパッドを操作する、ウィンドウを開く、ユーザを切り替える、画面の解像度や色数の変更など、パソコン本体の操作は行わないでください。
- 次の機器の取り付け／取りはずしを行わないでください。
  PCカード、USB対応機器、外部ディスプレイ、テレビ、i.LINK対応機器、SDメモリカード、メモリースティック、xD-ピクチャーカードTM、マルチメディアカード
- パソコン本体から、携帯電話および他の無線通信装置を離してください。

■作成したDVDについて■

- 作成したDVDは、一部の家庭用DVDビデオレコーダやパソコンでは再生できないこともあります。また、作成したDVD+R DLメディアを再生するときは、DVD+R DLメディアの読み取りに対応している機器を使用してください。
- 作成したDVDを本製品で再生するときは、「InterVideo WinDVD」を使用してください。「Windows Media Player」やその他の市販ソフトを使用して再生すると、表示が乱れたり、再生できない場合があります。

TX/9シリーズ、AX/9シリーズのみ

■映像データをDVDに書き込む前に■

- DVDに書き込みを行うときには、それぞれの規格に準拠したメディアを使用してください。また、推奨するメーカのメディアを使用してください。なお、再生する機器に応じて、その機器の取扱説明書でも推奨されるメディアを使用してください。守らずに使用すると、書き込みに失敗するおそれがあります。また、ドライブへのショックなど本体異常や、メディアの状態などによっては処理が正常に行えず、書き込みに失敗することがあります。
- 本製品に付属の「WinDVD Creator」以外の映像データライティングソフトウェアは動作保証していません。

TX/9シリーズ、AX/9シリーズのみ

■「WinDVD Creator」のムービー作成について■

- ムービー作成では－VRフォーマット、＋VRフォーマットでの書き込みはできません。
- DVD-AudioやVideo CD、miniDVDを作成することはできません。
- DVD-RAMにDVD-Videoフォーマットで記録できますが、作成されたメディアは本製品にインストールされている「InterVideo WinDVD」でのみ再生可能となります。
- DVDへ書き込みを行うには、映像データのサイズの約2.5倍以上の空き容量がハードディスクに必要です。あらかじめハードディスクの空き容量を確認してください。使用する映像ファイルや編集のしかたによって、必要な空き容量が異なります。
- DVDに映像データを書き込む場合、映像データの大きさや編集のしかたによってはデータの変換に数時間かかることがあります。

4 「TOSHIBA Disc Creator」を使うために

■CD／DVDに書き込む前に■

CD／DVDに書き込みを行うときは、Windows標準のCD書き込み機能や市販のライティングソフトウェアは、使用しないでください。

CD／DVDに書き込みを行うときは、次の注意をよく読んでから使用してください。守らずに使用すると、書き込みに失敗するおそれがあります。また、ドライブへのショックなど本体異常や、メディアの状態などによっては処理が正常に行えず、書き込みに失敗することがあります。

参照 使用できるメディアについて『活用ガイド 1章 パソコンの基本操作を覚えよう』

- CD／DVDに書き込むときには、それぞれの書き込み速度に対応したメディアを使用してください。DVD-RW、DVD-R、DVD+RW、DVD+Rに書き込むときには、それぞれの規格に準拠したメディアを使用してください。また、推奨するメーカのメディアを使用してください。
- バッテリ駆動で使用中に書き込みを行うと、バッテリの消耗などによって書き込みに失敗するおそれがあります。必ずACアダプタを使用してパソコン本体を電源コンセントに接続してご使用ください。

参照 省電力機能について《おたすけナビ》

- 書き込みを行うときは、本製品の省電力機能が働かないようにしてください。また、スタンバイや休止状態を実行しないでください。
- 次に示すような、ライティングソフトウェア以外のソフトウェアは終了させてください。
  - ・スクリーンセーバ
  - ・ウイルスチェックソフト
  - ・ディスクのアクセスを高速化する常駐型ユーティリティ
  - ・モデムなどの通信アプリケーション など

  ソフトウェアによっては、動作の不安定やデータの破損の原因となります。
- SDメモリカード、PCカードタイプのハードディスクドライブ、USB接続などのハードディスクドライブなど、本製品の内蔵ハードディスク以外の記憶装置にあるデータを書き込むときは、データをいったん本製品の内蔵ハードディスクに保存してから書き込みを行ってください。
- LANを経由する場合は、データをいったん本製品の内蔵ハードディスクに保存してから書き込みを行ってください。
- 本製品に付属している「TOSHIBA Disc Creator」を使用してDVD-Video、DVD-Audioを作成することはできません。

■書き込み／削除を行うにあたって■

- タッチパッドを操作する、ウィンドウを開く、ユーザを切り替える、画面の解像度や色数の変更など、パソコン本体の操作を行わないでください。
- パソコン本体に衝撃や振動を与えないでください。
- 書き込み／編集作業中は、次の機器の取り付け／取りはずしを行わないでください。

  PCカード、USB対応機器、外部ディスプレイ、テレビ、i.LINK対応機器、SDメモリカード、メモリースティック、xD-ピクチャーカード™、マルチメディアカード
- パソコン本体から携帯電話、および他の無線通信装置を離してください。
- 重要なデータについては、書き込み終了後、必ずデータが正しく書き込まれたことを確認してください。

5 データCD／DVDを作るにあたって

＊ データCD／DVDを作るには、下記以外にもお願い事項があります。「本節４「TOSHIBA Disc Creator」を使うために」と合わせてご覧ください。使用できるメディアについては、『セットアップガイド４章 大切なデータを失わないために』の「TOSHIBA Disc Creator」に当てはまる部分をご覧ください。

■書き込む前に■

- 「TOSHIBA Disc Creator」を使用してDVD-RAMにデータを書き込むことはできません。
- DVD-R、DVD+Rにデータを追記した場合、そのDVD-R、DVD+Rを他のパソコンやドライブで読もうとしたとき、OSやドライブの制限により、記録されているすべての内容を読み出せないことがあります。Windows 98SE＊1、Windows Me＊2 などの16ビット系OSではDVD-R、DVD+Rメディアに追記されたデータを読むことはできません。Windows NT4.0＊3 ではService Pack 6以降、Windows 2000＊4 ではService Pack 2以降が必要です。また、DVD-ROMドライブ、DVD-ROM&CD-R/RWドライブの種類によっては追記したデータを読むことができないものがあります。

＊1 Microsoft® Windows® 98 Second Edition operating system日本語版を示します。
＊2 Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system日本語版を示します。
＊3 Microsoft® Windows NT® Workstation4.0 operating system日本語版を示します。
＊4 Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system日本語版を示します。

■書き込みを行うにあたって■

- 「TOSHIBA Disc Creator」で、重要なデータを書き込む場合は、次の設定を行ってください。正常に書き込まれていることを確認できます。

① 「TOSHIBA Disc Creator」を起動し、［データCD／DVD作成］をクリックする
② ［ディスク作成モードの設定ダイアログ］ボタン（ ）をクリックする
［データCD/DVD設定］画面が表示されます。
③ ［データチェック］の「書き込み後にデータをチェックする」と「詳細チェック」をチェックする
④ ［OK］ボタンをクリックする

付録

6 「TOSHIBA Direct Disc Writer」を使うために

＊「TOSHIBA Direct Disc Writer」を使うには、下記以外にもお願い事項があります。『セットアップガイド 4章 大切なデータを失わないために』と合わせてご覧ください。

- Windows標準のCD書き込み機能や市販のライティングソフトウェアは使用しないでください。
- CD／DVDをフォーマットすると、CD／DVD上のすべてのデータが失われます。内容を確認のうえ、フォーマットしてください。
- 「TOSHIBA Direct Disc Writer」はパケットライト形式での記録機能を備えたソフトです。「TOSHIBA Direct Disc Writer Format Utility」でフォーマット／書き込みしたメディアを他のパケットライトソフトでは使用しないでください。
  また、他のパケットライトソフトでフォーマット／書き込みしたメディアに、「TOSHIBA Direct Disc Writer」で書き込みは行わないでください。他のパケットライトソフトでフォーマットしたメディアを「TOSHIBA Direct Disc Writer」で使用する場合は、「TOSHIBA Direct Disc Writer Format Utility」で完全フォーマットを行ってから使用してください。
- ファイルやフォルダの「切り取り」→「貼り付け」は行わないでください。メディアやドライブに何らかの問題があった場合、もとのファイルやフォルダが消失することがあります。
- 「TOSHIBA Direct Disc Writer」で書き込んだメディアを「TOSHIBA Direct Disc Writer」がインストールされていないパソコンで読み出すには、DVD-RWメディアを「互換化」する必要があります。詳しくは「TOSHIBA Direct Disc Writer」のヘルプをご覧ください。DVD+RW、CD-RWメディアについては、「互換化」する必要はありません。
- 「TOSHIBA Direct Disc Writer Format Utility」でフォーマットされたメディア上にプログラムのセットアップファイルなどを保存し、そのメディア上からセットアップを実行しようとしたとき、エラーが発生することがあります。その場合は、セットアップに必要なファイルなどをいったんハードディスク上にコピーした状態で、ハードディスク上からセットアップを実行してください。